NEC

PC98-NX

活用ガイド ソフトウェア編

PC98-NX SERIES

VersaPro

（Windows 98 インストール）

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの追加と削除

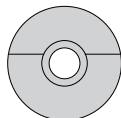
パソコンのメンテナンスと管理

トラブル解決Q&A

マニュアルの主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。

●『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。
- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介

●『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。
- ・再セットアップの方法

◎『マニュアル CD-ROM』
『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

●『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。
- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

●『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。
- ・アプリケーションの利用方法
- ・トラブル解決Q&A

はじめに

このマニュアルは、パソコンにインストールまたは添付されているアプリケーションについて説明しています。

また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や解決方法について説明しています。

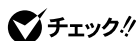
2001年 2月　初版

対象機種　（Windows 98インストールモデル）

VA80J/WX、VA70J/WX、VA70J/WS、VA70H/WX、VA65H/WT、VA65H/WS、VA85J/AF、VA70J/AF、VA60J/BH、VA50H/BS、VA70J/VH

853-810060-022-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

記号	意味
チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
用語	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
(縦線)	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
(困った顔→笑顔)	トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

表記	意味
コンパクトオールインワンノート	VA80J/WX、VA70J/WX、VA70J/WS、VA70H/WX、VA65H/WT、VA65H/WS
ハイスペックノート	VA85J/AF、VA70J/AF
モバイルノート	VA70J/VH、VA60J/BH、VA50H/BS
モバイルノート(ベイ内蔵型)	VA70J/VH
モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)	VA60J/BH、VA50H/BS
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーションやAtermIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
スーパーディスクモデル	スーパーディスクドライブが内蔵されているモデルのことです。
Office 2000 Personalモデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Professionalモデル	Office 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことです。
内蔵指紋センサモデル	指紋センサを内蔵しているモデルのことです。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」	「スタート」ボタンをクリックし、現われたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現われたサブメニューから「アクセサリ」を選択する操作を指します。
「コントロールパネル」を開く	「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする操作を指します。
BIOSセットアップメニュー	BIOSセットアップメニューまたはBIOSセットアップユーティリティを指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000、Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版
Windows 3.1	Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 5.01
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft Power Point® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3

本文中の表記	正式名称
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.05
スーパーディスク	SuperDisk™
VirusScan	VirusScan Ver4.0.3a

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

・本書に記載のイラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

> 国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが内蔵または添付されています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えします。ご購入元までご連絡ください。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
　http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。)。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、Outlook、Windows Media、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。
Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。
MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。
PS/2はIBM社が所有している商標です。
SuperDiskはImation社の商標です。
pcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。
PGPは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
IntelおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。
AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec,Inc.の登録商標です。
Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec,Inc.の商標です。
Virtual CDはFar Stone Tech,Inc.の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare[SM] International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.
NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.
NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

目　次

PART 4

PART 5

付録 187

索引 207

PART

1

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。

添付アプリケーションの紹介

本機に添付のアプリケーション

本機には、次のようなアプリケーションが添付されています。

> アプリケーションCD-ROMや専用CD-ROMに格納されているアプリケーションを使うときは、PART2の「追加のしかた」の手順にしたがってアプリケーションをハードディスクにインストールしてください。

コンパクトオールインワンノート、ハイスペックノートの場合

○ ：プリインストール
△※1 ：アプリケーションCD-ROMに格納
△※2 ：専用CD-ROMに格納
△※3 ：マニュアルCD-ROMに格納
－ ：非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	コンパクトオールインワンノート	ハイスペックノート
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)	○	
	Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)	○	
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer5.01	○	
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express	○	
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	△※1	
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
PDFファイルの表示／印刷	Acrobat Reader	△※1	
赤外線通信	Intellisync	△※1	
VersaPro用電子マニュアル	マニュアルCD-ROM	△※3	
ウイルスチェック／駆除	VirusScan	△※1	
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	△※1	

おもな機能	アプリケーションの名称	コンパクトオールインワンノート	ハイスペックノート
パソコンの保守	Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)	△※1	
英語モードフォントと日本語モードフォントの切り替え	英語モードフォント	△※1	
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	△※1	
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	△※1	
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	△※1	
メール受信ユーティリティ	自動メール受信ユーティリティ	○	—
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定	○	—

モバイルノートの場合

○　：プリインストール
△※1：アプリケーションCD-ROMに格納
△※2：専用CD-ROMに格納
△※3：マニュアルCD-ROMに格納
—　：非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	モバイルノート（ベイ内蔵型）	モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)	○	
	Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)	○	
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer5.01	○	
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express	○	
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	△※1	
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
仮想CDソフト	Virtual CD 2	△※1	
PDFファイルの表示／印刷	Acrobat Reader	△※1	
赤外線通信	Intellisync	—	△※1
VersaPro用電子マニュアル	マニュアルCD-ROM	△※3	

<table>
<tr><th>おもな機能</th><th>アプリケーションの名称</th><th>モバイルノート（ベイ内蔵型）</th><th>モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）</th></tr>
<tr><td>ウイルスチェック／駆除</td><td>VirusScan</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>システム設定ツールへのアクセス制限</td><td>CyberAccess</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>パソコンの保守</td><td>Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>英語モードフォントと日本語モードフォントの切り替え</td><td>英語モードフォント</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>ファイルバックアップ</td><td>Masty Data Backup</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>リモートメンテナンスツール</td><td>pcAnywhere 9.2 EX</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>暗号化ソフト</td><td>PGP Personal Privacy</td><td colspan="2">△※1</td></tr>
<tr><td>メール受信ユーティリティ</td><td>自動メール受信ユーティリティ</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ワンタッチスタートボタンの設定ツール</td><td>ワンタッチスタートボタンの設定</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

Office 2000 Personal

Office 2000 Personalは、Office 2000 Personalモデルのみにプリインストールされています。
Office 2000 Personalは、次のアプリケーションで構成されています。

・Excel 2000(表計算ソフト)
・Word 2000(ワープロソフト)
・Outlook 2000(メール/スケジュール管理ソフト)

◎ 初回起動時の設定

◆ ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。
必要な情報を入力してください。

・「ユーザー名」には、Windowsのユーザー情報が表示されています。
・CDキーは「Office 2000 Personal添付品」に記載されています。

◆ オフィシャルユーザ登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

◆ Outlook 2000の設定

Outlook 2000を初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2 「企業／ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

Office 2000 Professional

Office 2000 Professionalは、Office 2000 Professionalモデルのみにプリインストールされています。
Office 2000 Professionalは、次のアプリケーションで構成されています。

・Excel 2000(表計算ソフト)
・Word 2000(ワープロソフト)
・Outlook 2000(メール／スケジュール管理ソフト)
・PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
・Access 2000(データベース管理ソフト)
・Publisher 2000(DTPソフト)
・顧客データマネージャ 2000(顧客情報管理ソフト)
・Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

◎ 初回起動時の設定

◆ Outlook 2000の設定

Outlook 2000をはじめて起動したときには、次の手順で設定が必要です。

1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2 「企業／ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

◆ ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動する場合、または「Outlook 2000スタートアップ」の設定後にはじめてOutlook 2000を起動する場合、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。
必要な情報を入力してください。

・「ユーザー名」には、Windowsのユーザー情報が表示されています。
・CDキーは「Office 2000 Professional添付品」に記載されています。

◆オフィシャルユーザ登録

ユーザ情報の登録後、Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 ProfessionalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

Internet Explorer5.01

Internet Explorerは、インターネット閲覧用のソフトです。

Outlook Express

Outlook Expressは、広く利用されている多機能な電子メールソフトです。アドレス帳機能や署名機能を使い、メールアドレスの管理や、送付メールへの署名追加なども簡単に行えます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。

参照 **インターネット設定切替ツールについて→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」**

DirectCD

DirectCDは、CD-R/RWモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルに添付されています。
DirectCDを使うと、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚でCD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができます。簡単にデータを保存することができるので、データのバックアップなどに適しています。

参照 **DirectCDの使いかたについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」**

Easy CD Creator

Easy CD Creatorは、CD-R/RWモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルに添付されています。
Easy CD Creatorは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリケーションです。

> Easy CD Creatorで書き込んだCD-RWは、マルチリード対応のCD-ROMドライブで読み出すことができます。

参照 **Easy CD Creatorの使いかたについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」**

Virtual CD 2

Virtual CD 2は、モバイルノートに添付されています。
Virtual CD 2は、パソコンに仮想CD-ROMドライブを追加して、そのドライブで使用できる仮想CDを作成し、利用するためのアプリケーションです。作成した仮想CD-ROMドライブは、Windows上で通常のCD-ROMドライブを扱うような感覚で利用できます。

参照 **Virtual CD 2の使いかたについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」**

Acrobat Reader

PDF形式のファイルを表示したり印刷したりすることができます。

> このパソコンに添付のアプリケーションの中には、ヘルプなどを参照するときにAcrobat Readerが必要なものがあります。

Intellisync

Intellisyncは、モバイルノート(ベイ内蔵型)以外の各機種に添付されています。

◎ 設定を行う前に

Intellisyncの設定を行う前に、次の点をご確認ください。

・Intellisyncで赤外線通信機能を使う場合には、赤外線の接続設定を行う前に、必ず『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」をご覧ください。

・通信相手のパソコンにIntellisyncがインストールされていない場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、Intellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Intellisync」(→p.52)をご覧ください。

・通信相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に、本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisync ソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。ただし、通信相手のパソコンでのIntellisyncの動作を保証するものではありません。

・Intellisyncのユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Readerが必要です。Acrobat Readerのインストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader」(→p.51)をご覧ください。

◎ Intellisyncの設定

Intellisyncの設定は、Intellisyncランチャーを使って行います。

◆ Intellisyncランチャーの起動

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする**

2 **「はじめに-Intellisync」の画面で「OK」ボタンをクリックする**

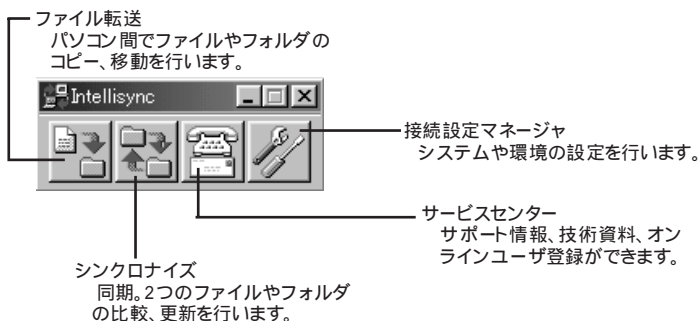
「Intellisyncランチャー」が表示されます。

ファイル転送
パソコン間でファイルやフォルダのコピー、移動を行います。

Intellisync

接続設定マネージャ
システムや環境の設定を行います。

サービスセンター
サポート情報、技術資料、オンラインユーザ登録ができます。

シンクロナイズ
同期。2つのファイルやフォルダの比較、更新を行います。

◆ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

1 **Intellisyncランチャーを起動する**

2 **ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする**

初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

3 **「ローカルデバイス」タブをクリックする**

4 **接続に使用するデバイスのアイコンの左側の ⊞ をクリックし、表示されたデバイス名をクリックする**

デバイスの詳細については、下記の「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線のデバイス」に⊞が表示されていないときは、下記の「接続設定」の「赤外線(IR)接続設定」をご覧のうえ、赤外線の設定を行ってください。

5 **「プロパティ」ボタンをクリックする**

6 **「ポートのプロパティ」画面で「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする**

◆接続設定

パソコン間を赤外線またはシリアルポートで接続できます。

・**赤外線(IR)接続設定**

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

1 **COMポートに赤外線デバイスを接続する**

詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。

2 **二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する**

参照 設置時の注意→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

3 **「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」タブをクリックする**

4 **「赤外線のデバイス」を右クリックする**

5 **「IRウィザード」をクリックする**

6 **現在のデバイスが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする**

7 **デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする**

本機に内蔵の赤外線デバイスを使うときは、リストから次のデバイスを選んでください。

ハイスペックノートの場合
「NEC FIR port model 03」
上記以外のモデルの場合
「NEC FIR port model 04」

8 **「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする**

9 **「Ir LPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする**

10 **設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする**

11 **「接続設定マネージャ」画面で「OK」ボタンをクリックする**

12 **再起動をうながすメッセージが表示された場合は、本機を再起動する**

・シリアルケーブル接続設定

> モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合は、別売のUSBポートバーを接続しておく必要があります。

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

1 **COMポート(シリアルポート)に別売のシリアルケーブルを接続する**

ケーブルの長さは6m以下にしてください。

2 **「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする**

3 **シリアルケーブルの左側の⊞をクリックする**

4 **COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする**

5 **「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする**

6 **「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする**

◎ 接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

1 **「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする**

2 **接続状態をチェックしたいデバイスの左側の⊞をクリックする**

表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない（赤信号）
	接続中（黄信号）
	接続されている（青信号）

マニュアルCD-ROM

添付の「マニュアルCD-ROM」をセットすると、『活用ガイド　ハードウェア編』『活用ガイド ソフトウェア編』『環境ガイド（ハイスペックノート、モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）のみ）』などのマニュアルを画面上で見ることができます。

「マニュアルCD-ROM」を見るには、あらかじめAcrobat Readerをインストールしておく必要があります。

VirusScan

チェック!! フロッピーディスクドライブが外付けのモデルでフロッピーディスクドライブを接続していない場合は、「システムスキャンプロパティ」を表示して「スキャン」タブをクリックし、「フロッピーのスキャン」の「シャットダウン」のチェックをはずしてください。フロッピーディスクドライブを接続していないときにフロッピーディスクのスキャンを行うと、シャットダウンに時間がかかり、正常にシャットダウンしない場合があります。

◎ エマージェンシーディスクの作り方

ウイルスに感染してパソコンが起動できなくなったときに、エマージェンシーディスクを使って起動することができます。エマージェンシーディスクは、次の手順で作成します。

◆用意するもの

エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

◆エマージェンシーディスクの作成

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする

「McAfee VirusScan セントラル」が起動します。

2 「ツール」→「エマージェンシーディスク」をクリックする

以降は、画面に表示されるメッセージに従って、エマージェンシーディスクを作成します。
詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

チェック!! エマージェンシーディスクを使って検査する場合は、エマージェンシーディスク内のDATファイルをご使用ください。

◎ VShieldを有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウイルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

チェック!! VShieldの機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする**

2 **「VirusScanセントラル」が表示されたら、「VShield」をクリックする**

3 **「システムスキャンプロパティ」が表示されたら、「システムスキャンを有効」、「システムスキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」のチェックボックスにチェックを入れる**

4 **「OK」ボタンをクリックする**

5 **「VShieldコンフィグレーション マネジャ」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

6 **「VirusScanセントラル」を閉じる**

これでVShieldの設定は完了です。次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

チェック!! VShieldが常駐している状態では、VShieldが常にファイルへのアクセスを監視するため、アプリケーションの動作が多少遅くなります。VShieldの常駐を解除する方法については、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

> 「VShield」の設定の他に、「E-mailスキャン」、「ダウンロードスキャン」、「インターネットフィルター」の設定ができます。詳しくは、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

CyberAccess

◎ CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、ドライブやフォルダ、ファイルを隠し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるので、複数のモードを使い分けることができます。

◆モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

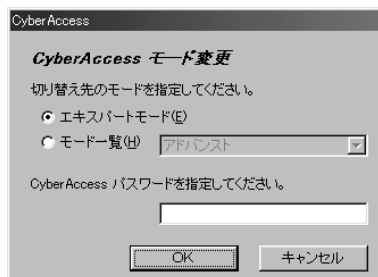
モード	機能
エキスパートモード	CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
アドバンストモード※	コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
ベーシックモード※	システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
セキュリティモード	CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されます。
新規作成モード	CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

※CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セットアップを行うことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行った場合は、このモードを利用することはできません。セットアップについて詳しくは、PART2の「追加のしかた」の「CyberAccess」(→p.54)をご覧ください。

◆新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。

チェック!! ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする**

次の画面が表示されます。

2 **「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする**

システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。

3 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする**

「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。

4 **「モード」タブをクリックする**

5 **「新規作成」ボタンをクリックする**

モード作成ウィザードが起動します。

6 **新規作成するモード名を入力する**

7 **「モードアクセスをパスワードで確認」にチェックし、パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックする**

8 **モードに設定する制限項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする**

9 **モードに設定する単純化項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする**

10 **ドライブを隠す場合は、隠すドライブの□をクリックして☑にする**

すべてのドライブを隠す場合は「全てのドライブを隠す」を☑にします。

11 ファイル／フォルダを隠す場合は、「追加」ボタンをクリックする

フォルダとファイルのどちらを隠すかというドロップダウンメニューが表示されたら、「フォルダ」か「ファイル」のどちらかを選んでください。

12 ドライブ／ファイルを隠す設定が終了したら「次へ」ボタンをクリックする

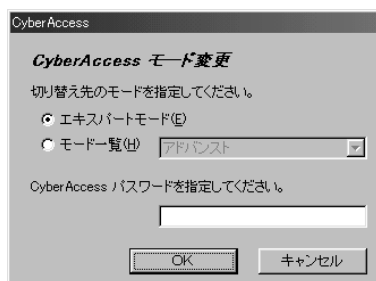
13 アプリケーションの利用制限を行う場合は「下記のプログラムのみ使用可能」にチェックし、「追加」ボタンをクリックして利用させるアプリケーションを設定する

アプリケーションの利用制限を行わない場合はこの操作は不要です。

14 設定が完了したら「完了」ボタンをクリックする

◆モードの編集

作成したモードを編集します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする

次の画面が表示されます。

2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。

3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする

「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。

4 **「モード」タブをクリックする**

5 **「CyberAccess　モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」ボタンをクリックする**

「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。

6 **編集内容にしたがって各タブをクリックし、項目を変更する**

> 各設定項目については、「新規モードの作成」の手順6〜13(→p.30〜31)を参照してください。

7 **「OK」ボタンをクリックする**

◆モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする**

2 **「モード一覧」をクリックする**

3 **▼をクリックし、切り替えるモードをクリックする**

4 **「OK」ボタンをクリックする**

システムがログオフし、モードが切り替わります。

> CyberAccessには、任意のドライブやフォルダ、ファイルを隠す機能や、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」の「CyberAccess　ヘルプ」をご覧ください。

◎ CyberWarner-NXの機能

Windowsの動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。

チェック!! **CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除しようとすると、ごみ箱の中身は空なのに、中身があるようにアイコン表示されてしまう場合があります。このような場合は、次の手順で表示を正しく直してください。**

1 「ごみ箱」アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする

3 「OK」ボタンをクリックする

チェック!! CyberWarner-NXの監視対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの削除やフォルダ名の変更は行わないでください。ファイルの監視を行うことができなくなります。

◆CyberWarner-NXを常駐させる

1 「コントロールパネル」を開き「CyberWarner-NX」アイコンをダブルクリックする

2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

チェック!! 「CyberWarner-NX」を起動時に常駐させるには、「スタートアップ」タブの「起動時にCyberWarner-NXを実行する」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックしてください。

◆CyberWarner-NXの常駐を終了する

1 インジケータ領域(タスクトレイ)に表示されている「CyberWarner-NX」アイコンをクリックする

2 「終了」をクリックする

3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

◆ログファイルについて

・**CyberWarner-NX LogViewer**

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NX LogViewerを使います。

チェック!! **採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。**

・ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルの操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

・ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

CriticalFile

次のファイルを操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com
¥io.sys
¥himem.sys
¥windows¥win.com
¥windows¥notepad.exe
¥windows¥regedit.exe
¥windows¥explorer.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.vxd
¥windows¥command.com
¥windows¥himem.sys
¥windows¥system¥sysedit.exe
¥windows¥system¥iosubsys¥*.mpd
¥windows¥system¥iosubsys¥*.pdr
¥windows¥system¥iosubsys¥*.vxd
¥windows¥system¥iosubsys¥*.drv
¥windows¥rundll.exe
¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥progman.exe
¥windows¥control.exe
¥windows¥winfile.exe
¥windows¥taskman.exe
¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥winsock.dll

Non Critical File

次のファイルを操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥aztpnp.cfg
¥windows¥command¥*.exe
¥windows¥command¥*.com

¥windows¥command¥*.bin
¥windows¥command¥*.ini
¥windows¥command¥*.sys
¥windows¥command¥*.dic
¥windows¥command¥*.lib
¥windows¥command¥*.bat
¥windows¥command¥*.drv
¥windows¥system¥*.dll
¥windows¥system¥*.vxd

Special
次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。
¥windows¥win.ini
¥windows¥system.ini

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)

・Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。

・使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

・Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、起動に3分程度かかります。各種機能(「このコンピュータを管理する」、「DMITOOL互換」など)を使用する場合は、OS起動後しばらく待ってからこれらの機能をご使用ください。Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)を削除する場合も、OS起動後しばらく待ってから行ってください。

◎ Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の機能

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、以下の機能により構成されています。

・Webブラウザによる情報表示
・システムビューワによる情報表示

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプ、ユーザーズガイド、リリースノートおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

◎ NEC拡張機能とは

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)に対して、NEC独自に拡張した機能です。
拡張した機能には、次のようなものがあります。

＊1　標準状態でインストールされます。
＊2　標準状態でインストールされません。
＊3　「DMITOOL互換画面」を選択すると、自動的にインストールされます。インストールしたくない場合は、「DMITOOL互換画面」のチェックボックスのチェックを外してください。

インストールする機能を追加／削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで「変更」ボタンをクリックしてください。

◆ DMITOOL互換画面　*1

DMITOOL互換のユーザインターフェイス(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

◆ USB接続デバイス一覧　*1 *3

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

◆ モデム一覧　*1 *3

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

◆ プリンタ一覧／プリンタ監視　*1 *3

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

◆ 拡張資産管理　*1 *3

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の資産管理機能に、リース情報／棚卸し管理を追加し、リース／棚卸し管理を可能にします。

◆ H/W変更監視　*2

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

◆ TOOL連携　*2

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツールなどの起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。
連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionsリリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

◆**SMBIOS情報** *2

SMBIOS情報を管理者などの他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

英語モードフォント

・日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)、(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。

・また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「ｩ」「ｮ」「\」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。

・英語モードフォント、日本語モードフォントでのそれぞれの表示状態は、次の表の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ｩ」、「®」→「ｮ」、「\」→「\」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ｩ」→「©」、「ｮ」→「®」、「\」→「\」

Masty Data Backup

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような機能があります。

・OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
・日付/曜日/時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
・世代管理ができます。
・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

pcAnywhere 9.2 EX

・本機に添付されているpcAnywhere 9.2 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。

・接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。

・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EXコンプリート版付)」または「pcAnywhere」(Symantec社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EXコンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

PGP Personal Privacy

PGP Personal Privacy(以降PGP)は、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

・PGPは、公開鍵暗号方式を使用しています。

・PGPをインストールすると、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」のファイルメニューにコマンドが追加されます。

・共有パスワードでファイルを暗号化し、共有することができます。

・Eメールアプリケーションと連携し、メールメッセージを暗号化して送信することができます。この場合、メールを受信するパソコンにもPGPがインストールされている必要があります。

・自己復号アーカイブを使用すると、PGPを持っていないユーザに暗号化ファイルを送信することができます。この場合、共通のパスワードを事前に設定しておく必要があります。

参照 **PGPの操作方法について→「スタート」ボタン→「プログラム」→「PGP」→「ドキュメント」→「PGPユーザーズガイド」**

チェック!! **・メールの件名は暗号化されません。件名のみを記載したメールを暗号化して送信しようとするとエラーメッセージが表示されますので、通常のメールとして送信してください。**

- **「暗号化オプション」で「コンベンショナル暗号」または「自己復号アーカイブ」を選択して暗号化した場合、進捗を表示するバーの表示や作成されたファイルのアイコンが正しく表示されない場合がありますが、運用上は問題ありません。**
- **Outlook Expressをお使いの場合、「PGPオプション」の画面の「Eメール」タブにある「自動的に復号化／検証の確認」が☑になっていると、暗号化されたメールを復号化するときに「PGPエラー」が頻繁に発生することがあります。エラーメッセージが表示されたときは、PGPトレイおよびOutlook Expressを再起動するか、本機を再起動してください。**
- **鍵作成時ユーザ名に日本語を使うことはできません。**
- **鍵生成ウィザードで「今すぐデフォルトサーバに鍵を送信する」を選択した場合、公開鍵をインターネット上のサーバに転送しますので、インターネットに接続できる環境が必要です。**
- **フォルダ単位での暗号化はできません。フォルダを選択し暗号化を行った場合、フォルダ内のファイルのみが暗号化されます。**
- **ショートカットファイルの暗号化を行うと、ショートカットファイルのリンク先のファイルが暗号化されます。ただし、ショートカットファイルを「PGPツール」の「暗号化」ボタンにドラッグしたまま移動させ暗号化を行った場合は、ショートカットファイルが暗号化されますが、リンク先のファイルは暗号化されません。**
- **暗号化して送信するメールは、テキスト形式で作成してください。HTML形式では正しく送信できないことがあります。また、HTML形式で受信したメールは復号化できないことがあります。**

> 日本ネットワークアソシエイツ社のホームページには、PGPに関する最新情報が掲載されています。下記のアドレスからプリインストールユーザ向けのホームページにアクセスしてください。
> **http://www.nai.com/japan/pgp/**

自動メール受信ユーティリティ

自動メール受信ユーティリティは、コンパクトオールインワンノートとモバイルノート（ベイ内蔵型を除く）にプリインストールされています。
メールの受信方法を自動受信に設定すると、パソコンから離れて何か別なことをしている間に自動的にメールを受信することができます。

◎ 自動受信の設定を行う

ここでは、おもにOutlook Expressを使用してメールを自動受信するための手順を説明します。その他のメールソフトを使用したい場合は、メールソフトが次の機能に対応しているか確認し、設定をしておいてください。

・自動受信(メールソフト起動時に自動受信する)
・接続設定が行える
・受信後に回線切断できる

チェック!!

- **Outlook Expressでメールの自動受信を行うには、あらかじめOutlook Expressでメールの送受信が行えるように設定しておく必要があります。この時「ユーザーの管理」機能を使用するとメールの自動受信は行えません。**
- **Outlook Expressの場合、初回および2回目起動時と、はじめてメールを送受信したときにキー入力を必要とするため、自動受信がうまく行えない場合があります。必ず2回以上、送受信テストを行ってから利用してください。**
- **自動受信を行うには、Outlook Expressで自動切断の設定が必要です。また、自動切断の設定直後には必ずWindowsの再起動を行ってください。**
- **自動メール受信ユーティリティをお使いになる場合には、ご使用になるプロバイダのメールサーバがPOP3プロトコルに対応している必要があります。**

◆メール着信ランプについて

自動受信の設定をしていると、「メール着信ランプ」( )を見るだけで、自分宛のメールが届いているかどうかを確認することができます。この機能を利用すると、メール着信の確認のためだけにインターネットに接続する必要がなくなります。
メールが届いていると、メール着信ランプが緑色に点灯します。

◎ 自動メール受信ユーティリティの設定をする

◆自動メール受信ユーティリティを始める

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする

「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。

2 「メールの自動受信を行う」の左の をクリックする

が緑色に変わり、メッセージの画面が表示されます。
すでに が緑色になっている場合は、設定ができる状態です。

3 「OK」ボタンをクリックして、メッセージの画面を閉じる

これで、自動メール受信ユーティリティの設定を始めることができます。
次の手順で、メールパスワードを設定してください。

◆メールパスワードを設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「受信設定」ボタンをクリックする

「受信設定」の画面が表示されます。

2 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「メールパスワード」を入力する

チェック!!

- **ここで入力するパスワードは、メールサーバに接続するときに使うパスワードです。**
- **パスワードの入力では、入力した文字がすべて「*」で表示されるので、画面上では確認できませんが、必ず半角で、大文字と小文字を区別して入力してください。**

3 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順2と同じメールパスワードを入力する

4 「OK」ボタンをクリックする

これでメールパスワードの設定ができました。
続けて、自動受信する日時を設定してください。

◆自動受信する日時を設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「毎日」「平日」「カスタム」のいずれかの◯をクリックする

◯が緑色に変わります。

2 「設定時間1」で受信したい時刻を選ぶ

3 「OK」ボタンをクリックする

4 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

これで、自動受信の設定は終了です。

チェック!!

- **インターネット接続用のパスワードが保存されていないと、メールの自動受信は行えません。**
- **パスワードには、大文字/小文字/全角/半角の区別がありますので、間違えないように入力してください。**

◆Microsoft Outlook 2000で自動受信を行う

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする

「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。

2 「メールの自動受信を行う」の左の○をクリックする

○が緑色に変わり、メッセージの画面が表示されます。

すでに○が緑色になっている場合は、設定ができる状態になっているので、上記の操作は不要です。

3 「OK」ボタンをクリックしてメッセージの画面を閉じる

4 「受信設定」ボタンをクリックし、「受信ソフト」の「メールソフトにOutlook Express以外を用いる」の左の○をクリックする

5 「参照」ボタンをクリックし「C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office¥Outlook.exe」を指定する

◎ メールを自動受信する前に

メールを自動受信するときには、設定した時刻に本機の電源が入っている状態にしておく必要があります。しばらくパソコンから離れている間に受信する場合などは、本機をスタンバイ状態(サスペンド)にしておくことをおすすめします。また、Outlook Expressなど自動受信するためのメールソフトは終了しておいてください。

参照 **スタンバイ状態(サスペンド)にする→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」**

◎ メールを自動受信する

メールを自動受信している間は、画面が自動的に表示されて、次々に画面が切り替わります。すべて自動的に行われるので、操作の必要はありません。

チェック!! 自動受信するためのメールソフトが起動している状態では自動受信は行えません。

◆「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された場合

自動受信が正しく行われなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、次のような原因が考えられますので、エラーメッセージの画面を閉じて、設定を確認してください。

・メールパスワードの入力に誤りがあった
・インターネット接続用のパスワードが保存されていなかった
・メールの自動受信を行う前に、メールソフトを終了していなかった
・メールソフトにメールパスワードが保存されていなかった
・メールソフトに複数のアカウントが登録されていた

◎ メールが受信されたら

Outlook Expressを自動受信するメールソフトに設定している場合は、メールを受信するとメール着信ランプが点灯します。また、Outlook Express以外のメールソフトをご利用の場合には、「新しいメールが到着しています。」というメッセージが表示されます。受信したメールは、メールソフトを起動して読みます。

◎ メールの自動受信の設定を解除するには

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする

「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。

2 「メールの自動受信を行う」の左の◯(緑色)をクリックする

◯が灰色に変わります。

3 「OK」ボタンをクリックする

4 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」という画面で「はい」ボタンをクリックする

これで自動受信の設定が解除されました。

ワンタッチスタートボタンの設定

ワンタッチスタートボタンの設定は、ハイスペックノート以外の各機種にプリインストールされています。
ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけでアプリケーションを起動することができます。

チェック!! アプリケーションを起動するには、あらかじめ設定が必要です。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

PART

2

添付アプリケーションの追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。

追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- **添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合**
- **標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合**

追加するときの注意

・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵または添付されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが必要です。
・ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
・「C:¥Program Files」の直下や「C:¥Windows」などのシステムが使用しているフォルダには、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。
・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用してアプリケーションを追加する場合は、次の手順を行ってください。
なお、一部の添付アプリケーションでは次の手順は必要ありません。

1 CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

3 「インストールと削除」タブを選ぶ

4 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する

5 「次へ」ボタンをクリックする

6 「インストールプログラムの実行」の「インストールプログラムのコマンドライン」に「＜CD-ROMドライブ名＞：¥NSETUP.EXE」と入力する

例　CD-ROMドライブ名がQの場合
Q：¥NSETUP.EXE

7 「完了」ボタンをクリックする

「プロダクトの選択」が表示されます。

> 追加の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

ここから先は、アプリケーションによって手順が異なります。次のページからの「追加のしかた」の各アプリケーションでの操作手順をご覧ください。

追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personalモデルのみを対象としています。
Office 2000 Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- Excel 2000(表計算ソフト)
- Word 2000(ワープロソフト)
- Outlook 2000(メール／スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。
追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Personalの再セットアップ(Office 2000 Personalモデルのみ)」をご覧ください。
また、Bookshelf Basicの追加は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、CD-ROMに添付のマニュアルをご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明はOffice 2000 Professionalモデルのみを対象としています。
Office 2000 Professionalは次のアプリケーションで構成されています。

- Excel 2000(表計算ソフト)
- Word 2000(ワープロソフト)
- Outlook 2000(メール／スケジュール管理ソフト)
- PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- Access 2000(データベース管理ソフト)
- Publisher 2000(DTPソフト)
- 顧客データマネージャ(顧客情報管理ソフト)
- Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

Office 2000 Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Professionalの再セットアップ(Office 2000 Professionalモデルのみ)」をご覧ください。

インターネット設定切替ツール

1 「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う

2 「プロダクトの選択」で「インターネット設定切替ツール」を選び、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

5 「セットアップの完了」画面が表示されたら、Readmeを読む場合はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを読む。」のチェックを外してから「完了」ボタンをクリックする

Readmeファイルを読む場合は、読み終わったら画面右上の[×]をクリックしてください。
本機が再起動します。

DirectCD/Easy CD Creator

この説明は、DirectCDとEasy CD Creatorが添付されているモデルのみを対象としています。

チェック!! CD-RW書き込みソフトを追加するときは、「Easy CD Creator」と「DirectCD」を両方とも追加してください。

1 「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」をCD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする

「Master Setup」の画面が表示されます。表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面でCD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **一覧から「Easy CD Creator」をクリックする**

3 **「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする**

5 **「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

6 **「セットアップの完了」画面で「完了」ボタンをクリックする**

チェック!! Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールを行うかたずねる画面が表示されます。ここでは「いいえ」ボタンをクリックしてください。

7 **一覧から「DirectCD」をクリックする**

8 **「DirectCD」画面で「はい」ボタンをクリックする**

9 **「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

10 **「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする**

11 **「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

12 **「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

セットアップが始まります。セットアップ終了後、最初に表示された「Master Setup」の画面が表示されます。

13 **「終了」ボタンをクリックする**

14 **「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「終了」ボタンをクリックする**

本機が再起動します。

チェック!! 本機が再起動するまでCD-ROMを取り出さないでください。

15 **インジケータ領域(タスクトレイ)の「Adaptec CreateCD」を右クリックし、「CreateCDを無効にする」をクリックする**

16 **「Adaptec CreateCD」画面で「はい」ボタンをクリックする**

Virtual CD 2

この説明は、Virtual CD 2が添付されているモデルのみを対象としています。

1 **「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う**

2 **「プロダクトの選択」で「Virtual CD 2」を選び、「OK」ボタンをクリックする**

3 **「Virtual CD」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「インストール先の設定」画面で「次へ」ボタンをクリックする**
ファイルのコピーが始まります。

5 **「セットアップは正常に完了しました。」と表示されたら、「再起動する」ボタンをクリックする**
本機が再起動します。

Acrobat Reader

1 **「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う**

2 **「プロダクトの選択」で「Acrobat Reader」をクリックして「OK」ボタンをクリックする**

3 **「Acrobat Reader 4.05のセットアップ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリックする**
ファイルのコピーが始まります。

5 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリックする

Intellisync

この説明は、Intellisyncが添付されているモデルのみを対象としています。Intellisyncを追加する前に、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」の手順を行ってください。

1 「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う

2 「プロダクトの選択」で「Intellisync」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

チェック!! **シリアル番号は変更しないでください。**

6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

7 「セットアップ方法」画面で「次へ」ボタンをクリックする

8 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

9 「質問」画面の「スタートアップグループにIntellisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする

10 「セットアップの完了」画面で、「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します。」のチェックを外して「完了」ボタンをクリックする

赤外線通信を行う場合はPART1の「赤外線(IR)接続設定」(→p.24)をご覧になり、設定を行ってください。シリアルケーブルによる通信を行う場合はPART1の「シリアルケーブル接続設定」(→p.25)をご覧になり、設定を行ってください。

VirusScan

1 **「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う**

2 **「プロダクトの選択」で「VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする**

セットアッププログラムが起動します。

3 **「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「Network Associatesソフトウェアの使用許諾契約書」の契約内容に同意のうえ、「はい」ボタンをクリックする**

5 **「セットアップ方法」画面で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする**

インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

6 **「コンポーネントの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

7 **「オプションの選択 - McAfee VirusScan」画面で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」、「McAfee VirusScanセントラルのショートカット作成。」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックする**

エマージェンシーディスクは、後から作成することもできます。詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

チェック!! **「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。**

8 **「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

9 **「インストール設定の確認」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

10 「システム領域のスキャンが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

11 「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックする

> 最新の情報はインストール完了後に、「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

12 「変更事項」画面で「次へ」ボタンをクリックする

13 インストールが終了すると、「インストールが完了しました。」と表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

CyberAccess

チェック!! 「C:¥Program Files」の直下や「C:¥Windows」などのシステムが使用しているフォルダには、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。また、CyberWarner-NXを単体でインストールすることはできません。CyberAccessのインストールと同時にCyberWarner-NXをインストールしてください。

1 「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う

2 「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「CyberAccess　セットアッププログラムへようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先ディレクトリを選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

5 「CyberAccess」画面でセットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「標準」または「カスタム」のどちらかにチェックを付けてください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標準」に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード (上記のほかに、アドバンストモード、ベーシックモードを追加選択可能)

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
カスタム	任意のモードを設定可能※

※次のページの手順6で選択したモードの中から選択できます。

・エキスパートパスワードの設定

エキスパートモード(CyberAccessを設定可能な管理者モード)のパスワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
カスタム	任意の文字列に変更可能 (初期値はmanager)

以降、手順6～9は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準」を選択すると、自動的に設定が行われますので、手順10に進んでください。

6 **セットアップ時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする**

7 **「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする**

8 **「エキスパートパスワードの設定」を設定して「次へ」ボタンをクリックする**

9 **「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックをつけて「次へ」ボタンをクリックする**

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

10 **「CyberWarner」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

CyberWarner-NXをインストールしない場合は、「CyberWarnerをインストール」のチェックを外してください。

11 **「セットアップ開始」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

12 **「Cyber Access のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする**

「CyberWarner-NX」をインストールしない場合は、これで操作は完了です。「CyberWarner-NX」をインストールする場合は、続けて以下の操作を行ってください。

13 **「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする**

14 **「インストール先の選択」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする**

15 **「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

16 「インストールを有効にするためには再起動する必要があります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)

チェック!!

- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)をインストールする前にTCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。TCP/IPの設定を行わずにIntel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)をインストールした場合、本機起動時にエラーメッセージが表示される場合がありますが、問題はありません。TCP/IPをインストールすることにより、正常に動作するようになります。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)をインストールするには、システムリソース/Userリソースが多く必要です。
  インストールする前に「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「リソースメーター」で50%以上のシステムリソース/Userリソースが残っていることを確認してください。
  また、インストール時に選択するコンポーネントにより、より多くのシステムリソース/Userリソースが必要になりますので、複数のアプリケーションを同時に動作させたり、インジケータ領域(タスクトレイ)に登録されているものなど、多くのシステムリソース/Userリソースを使用するアプリケーションと一緒にご使用になるときは、不要なコンポーネントを省いてインストールすることをお勧めします。

1 他のアプリケーションをすべて終了させる

2 「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う

3 「プロダクトの選択」で「Intel(R) LANDesk(R) Client Manager 6 (NEC Extension)」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

5 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を確認して、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

7 「コンポーネントの選択」画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

8 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

9 「ユーザの追加」画面で「ユーザ名」と「パスワード」を入力して「次へ」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

チェック!! **Acrobat Readerがインストールされていないと、「警告」が表示されることがあります。「警告」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。**

10 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

英語モードフォント

英語モードフォントに切り替えるには、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って「英語モードフォント」をインストールする必要があります。

1 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする

2 「ファイル」メニューから「新しいフォントのインストール」を選ぶ

3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

4 「フォントの追加」画面の「ドライブ」欄に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブを指定する

5 「フォルダ」欄で「usfont」フォルダをダブルクリックする

6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」ボタンをクリックする

Masty Data Backup

1 「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う

2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」を選び、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

ほかのアプリケーションが起動している場合、インストールの途中でそれらのアプリケーションのウィンドウが前面に表示されることがあります。このような場合は、それらのウィンドウを最小化すると「セットアップ完了」ウィンドウが表示されます。

5 「完了」ボタンをクリックする

Readmeファイルを読む場合は、「Readmeファイルを読みます。」にチェックを入れてください。読み終わったら、ウィンドウ右上の ☒ をクリックして閉じてください。

pcAnywhere 9.2 EX

1 「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う

2 「プロダクトの選択」で「pcAnywhere 9.2 EX」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

3 「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードへようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

4 **内容をよく読み、同意のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を◉にして「次へ」ボタンをクリックする**

「ユーザ情報」が表示されます。

5 **ユーザ名と所属を入力して「次へ」ボタンをクリックする**

「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されます。

6 **「インストール」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

7 **「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードを完了しています」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする**

「pcAnywhere 9.2 EXのインストーラ情報」のメッセージが表示されます。

8 **「はい」ボタンをクリックする**

本機が再起動します。

PGP Personal Privacy

1 **「追加の準備」(→p.46)の手順1〜7を行う**

2 **「プロダクトの選択」で「PGP」をクリックして「OK」ボタンをクリックする**

「ようこそ」の画面が表示されます。

3 **「次へ」ボタンをクリックする**

「製品ライセンス契約」の画面が表示されます。

4 **画面の内容をよく読み、「はい」ボタンをクリックする**

「重要な情報」の画面が表示されます。

5 **画面の内容をよく読み、「次へ」ボタンをクリックする**

「ユーザの情報」の画面が表示されます。

6 **名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする**

「インストール先の選択」の画面が表示されます。

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

7 「次へ」ボタンをクリックする

「コンポーネントの選択」の画面が表示されます。

8 インストールするコンポーネントを選択し「次へ」ボタンをクリックする

「ファイルをコピーする準備ができました」の画面が表示されます。

9 「次へ」ボタンをクリックする

インストールが始まります。
しばらくすると、「鍵リング」の画面が表示されます。

10 「いいえ」ボタンをクリックする

はじめてPGPをインストールする場合や「鍵リング」が無い場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
作成済みの「鍵リング」を使用する場合は「はい」ボタンをクリックし、「鍵リング」が保存されている場所を指定してください。

11 「はい、ただちにコンピュータを再起動します」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

本機が再起動します。
「PGP鍵の起動」と表示された場合は、チェックをはずして「完了」ボタンをクリックしたあと、本機を再起動してください。

削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
・インターネットエクスプローラを削除することはできません。
・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵または添付されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが必要です。
・ここではCD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
・アイコンを削除する場合は、次のページの「アイコン削除の準備」を行ってから削除します。
・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使ってアプリケーションを削除する場合は、次の手順を行ってください。
CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。
なお、一部のアプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「インストールと削除」タブを選択する

削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

チェック!!

- **削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、「スタート」メニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。**
- **アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。**
- **アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。**
- **「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。**

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする

2 エクスプローラの「表示」メニューから「フォルダ オプション」をクリックする

3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルとフォルダ」→「表示されないファイル」で「すべてのファイルを表示する」を選択する

4 「OK」ボタンをクリックする

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personalモデルのみを対象としています。

チェック!! **MS-IME2000を削除することはできません。**

◆ Office 2000 Personalの削除

1. **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**
2. **「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする**
3. **「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら、(Officeの削除)をクリックする**
4. **「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**
5. **「Microsoft Office 2000 SR-1 Personalのセットアップが正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする**
6. **「インストーラ情報」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**
   本機が再起動します。

◆ アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除した後、クイック起動バー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。
アイコンは、次の手順で削除することができます。

1. **クイック起動バーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする**
   メニューが表示されます。

2 「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックする

また、Bookshelf Basicの削除は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、CD-ROMに添付のマニュアルをご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明は、Office 2000 Professionalモデルのみを対象としています。

チェック!! **MS-IME2000を削除することはできません。**

◎ Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の削除

1 「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

チェック!! **Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。**

4 削除したいアプリケーションの[ボタン]をクリックし、「インストールしない」をクリックする

5 「完了」ボタンをクリックする

6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

7 「インストーラ情報」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

◎ Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Plannerの削除

1 **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

2 **「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする**

3 **「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする**

チェック!! **Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。**

4 **削除したいアプリケーションの[ボタン]をクリックし、「インストールしない」をクリックする**

5 **「完了」ボタンをクリックする**

6 **「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする**

7 **本機を再起動する**

◆アイコンの削除

Office 2000 Professionalを削除したあと、クイック起動バー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。
アイコンは次の手順で削除することができます。

1 **クイック起動バーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする**
メニューが表示されます。

2 **「削除」をクリックする**
「ファイルの削除の確認」が表示されます。

3 **「はい」ボタンをクリックする**

インターネット設定切替ツール

チェック!! **インターネット設定切替ツールを起動している場合は、終了させてから削除を行ってください。**

1 「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「インターネット設定切替ツール」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「'インターネット設定切替ツール'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

削除が始まります。

4 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする

5 本機を再起動する

DirectCD/Easy CD Creator

この説明は、DirectCDとEasy CD Creatorが添付されているモデルのみを対象としています。

チェック!! **CD-RW書き込みソフトを削除するときは、「DirectCD」と「Easy CD Creator」の両方を削除してください。**

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec DirectCD」→「アンインストール」をクリックする

2 「'Adaptec DirectCD'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする

DirectCDの削除が始まります。

3 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

4 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec Easy CD Creator 4」→「アンインストール」をクリックする**

5 **「Easy CD Creator 4およびコンポーネントすべてを削除してよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

Easy CD Creatorの削除が始まります。

チェック!! **「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。**

6 **「アンインストールが完了しました!」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

7 **本機を再起動する**

Virtual CD 2

この説明は、Virtual CD 2が添付されているモデルのみを対象としています。

1 **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

2 **「インストールと削除」の一覧から「Virtual CD」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする**

3 **「Virtual CDのアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックする**

4 **「Virtual CDをシステム上からアンインストールしてもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

削除が始まります。

「スタートアップ」画面が表示された場合は、画面を閉じるか最小化すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

5 **「Virtual CDを完全にアンインストールしました。アンインストールを完了するには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐに再起動しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

本機が再起動します。

Acrobat Reader

1 **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

(→p.62)

2 **「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat 4.0」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする**

3 **「'Adobe Acrobat 4.0'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。

4 **「コンピュータからプログラムを削除」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示された場合は、「詳細」をクリックし、画面に表示されているフォルダをエクスプローラなどを使って削除してから「OK」ボタンをクリックしてください。

Intellisync

この説明は、Intellisyncが添付されているモデルのみを対象としています。

1 **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

2 **「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする**

3 **「'Intellisync'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

4 **「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする**

削除が始まります。

5 **「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

VirusScan

1. **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

2. **「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.3a(プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする**

3. **「McAfee VirusScanを本当に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**
削除が始まります。

4. **「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする**

5. **「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

6. **「ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする**

7. **本機を再起動する**

CyberAccess

CyberWarner-NXのみを削除する場合は、手順5から行ってください。

1. **「エキスパートモード」以外のモードでお使いの場合は、「エキスパートモード」にする**

2. **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

3. **「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする**

4. **「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

引きつづきCyberWarner-NXの削除を行います。

5 **インジケータ領域(タスクトレイ)に「CyberWarner-NX」アイコンがある場合はアイコンをクリックし、「終了」をクリックする**

6 **「CyberWarner-NXのシャットダウン」が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

7 **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

8 **「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする**

9 **「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

10 **「セットアップ」画面で「OK」ボタンをクリックする**
本機が再起動します。

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)

1 **「削除の準備」(→p.62)の手順1〜2を行う**

2 **「インストールと削除」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする**

3 **「 'Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions) 'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」で「はい」ボタンをクリックする**
削除が始まります。

4 **「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックする**

5 **「LDCMのアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックする**
本機が再起動します。

英語モードフォント

日本語モードフォントに切り替えるには、「英語モードフォント」を削除する必要があります。

1 **「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする**

2 **「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」を選び「ファイル」メニューの「削除」を選ぶ**

「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」は短く表示されることもあります。

3 **「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

Masty Data Backup

1 **「削除の準備」(→p.62)の手順1～2を行う**

2 **「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup/F」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする**

3 **「'Masty Data Backup/F'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする**

削除が始まります。

4 **「アンインストールが完了しました。」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする**

5 **本機を再起動する**

チェック!!
- **アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windowsの登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。**

・**再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。**

pcAnywhere 9.2 EX

1 「削除の準備」(→p.62)の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.2 EX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

3 ファイル削除の確認メッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

pcAnywhere 9.2 EXの削除画面が表示されます。画面が消えたら、pcAnywhere 9.2 EXの削除は終了です。
「pcAnywhere 9.2 EXに行った設定変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

PGP Personal Privacy

1 「削除の準備」(→p.62)の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「PGP Personal Privacy 6.5.8J」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

「アンインストールの確認」の画面が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックする

「アンインストール完了」の画面が表示されます。

4 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が☑になっていることを確認し、「完了」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

PART

3

パソコンのメンテナンスと管理

パソコンのメンテナンスのしかたやトラブルからパソコンを守るための方法などを説明しています。

パソコンをウイルスから守る

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

◎ コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

◆ ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル(拡張子が.EXEや.COM)に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

◆ マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

◆ ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

◎ コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない

・インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
・入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
・ウイルスチェックを定期的に行う

本機にはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」が添付されています。
また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

参照 バックアップの取り方→このPARTの「データのバックアップをとる」(p.80)

◎ ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。
また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

◎ ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先:情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部　〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室
電話　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518
ホームページアドレス http://www.ipa.go.jp/

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。
VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

参照 **「VirusScan」のインストール→PART2の「追加のしかた」の「VirusScan」(p.53)**

ウイルスの検査には次の4通りの方法があります。

・VShield
　常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスに感染しないように検査します。
・ScreenScan
　スクリーンセーバーの実行中に、ウイルスに感染していないかを検査します。
・VirusScanスケジューラ
　あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスに感染していないかをチェックします。
・VirusScan
　その場でウイルスに感染していないかを検査します。

チェック!!
- **ワクチンソフトのウイルス検索エンジンとウイルスのデータベースファイルは順次更新されます。新種のウイルスが出現することがありますので、これらのファイルは定期的に更新してください。**
  詳しくは「新種のウイルスに備える」(→p.79)をご覧ください。
- **「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。**

◎ 常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。
「VShield」の使いかたについては、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

◎ 定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。
「VirusScanスケジューラ」の使い方については、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

◎ すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。
外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。
「VirusScan」の使い方については、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

◎ ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。
詳しい説明は、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

◎ 新種のウイルスに備える

本機に添付されているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。

チェック!!

- **インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)では、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。ただし、「VirusScanセントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選んだ場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分にご注意ください。**
- **電源を入れたあとにDATファイルのアップデートを促す画面が表示されることがあります。インターネットに接続できない環境で、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックして先に進むと、日本国外に電話をかけることがありますので十分ご注意ください。**
  なお、アップデートを中止する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックしてください。
- **DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。**

データのバックアップをとる

バックアップとは

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合や、ハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なバックアップが有効です。

バックアップが必要なデータ

本機のシステムが故障した場合には、添付の「バックアップ　CD-ROM」を利用して購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。
再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます（パスワードを除く）。
再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のようなものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	・ワープロの文書 ・入力した伝票のデータ ・購入後にインストールしたアプリケーション※ ・送受信したメール ・メールのアドレス帳 ・インターネットの設定 ・BIOSセットアップメニューの設定
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	・Windows（OS） ・添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っているアプリケーション（ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要）

※インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再追加すると元の状態に戻ります。

参照　**再セットアップ→『活用ガイド　再セットアップ編』**

バックアップをとるタイミング

誤ってデータを消してしまったり、システムが故障するなどの事態は、いつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびに、バックアップをとってください。
また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップをとることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体（バックアップ先）が必要です。
次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	・記録スピードが速い ・追加の機器が必要ない ・容量が非常に大きい（数Gバイト程度）	・ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	・記録スピードが速い ・容量が非常に大きい（数Gバイト程度） ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	・別売の外付けハードディスクやPCカードが必要
CD-RやCD-RW	・持ち運びが可能 ・記録スピードが比較的速い ・容量が大きい（数百Mバイト程度） ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	・別売のCD-RやCD-RWと、お使いの機種によってはディスクを扱えるドライブやPCカードが必要
フロッピーディスク	・持ち運びが可能 ・他の媒体に比べて安い ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	・容量が小さい（約1.4Mバイト） ・記録スピードが遅い ・別売のフロッピーディスクが必要

※上記の一覧以外にもスーパーディスクなどさまざまな市販の記憶媒体があります。

バックアップの手順

◎ 内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップをとる

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。
このDドライブにバックアップをとります。
ハードディスク自体は故障していなくても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windowsが起動しなくなる場合があります。
このような場合に「Cドライブのみを再セットアップする」方法で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが(パスワードを除く)、Dドライブのデータは残ります。
そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要がないため、購入直後からバックアップを取ることができます。

参照 **Cドライブのみを再セットアップする→『活用ガイド　再セットアップ編』の「カスタム再セットアップ～Cドライブのみを再セットアップする」**

◎ フロッピーディスクなどにバックアップをとる

Dドライブにバックアップを取った後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-R、CD-RWなど、Dドライブとは別の記憶媒体にもバックアップをとっておくと安全です。
万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップをとっていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。

> お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップをとるために、別売の機器を購入する必要があります。

ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクのメンテナンスをする

メンテナンスとは、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をすることです。このパソコンにはこれらのメンテナンスのためのツールがあらかじめインストールされています。

◎ ハードディスクを検査／修復する

「スキャンディスク」を使うことで、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータに障害がないかどうかを検査することができます。
「スキャンディスク」は、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)や、クラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないか検査してください。もし障害があった場合は、修復するようにしてください。

参照 **「スキャンディスク」の使い方→Windowsのヘルプ**

◎ ハードディスクのデータを整理する

「デフラグ」を使うことで、ハードディスク上のデータのフラグメンテーション(断片化)を解消し、データの並びを連続した状態に最適化することができます。

> フラグメンテーション(断片化)とは、データがディスクの空いている場所に、バラバラに保存されている状態をいいます。この状態になると、データが連続していないため、データの読み書きに時間がかかるようになります。

参照 **「デフラグ」の使い方→Windowsのヘルプ**

◎ 使用していないファイルを削除する

「ディスククリーンアップ」を使うことで、知らないうちにハードディスクにたまった不必要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

> 不必要なファイルには、インターネットを利用したときやソフトウェアのインストール時、ソフトウェアを使用したときにソフトウェアが作成する一時ファイルなどがあります。

参照 **「ディスククリーンアップ」の使い方→Windowsのヘルプ**

◎ メンテナンスを定期的に行う

ハードディスクのトラブルを予防するためには、定期的にメンテナンスをすることが重要です。「メンテナンスウィザード」を使うことで、ハードディスクのメンテナンスを決められた時間に自動的に実行するように設定することができます。

参照 **「メンテナンスウィザード」の使い方→Windowsのヘルプ**

重要なファイルの管理

システムファイルをチェックする

Windowsの動作が不安定になったときは、システムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。「システムファイルチェッカー」は、システムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルを修復することができます。

> システムファイルとは、Windowsの動作にかかわる重要なファイルのことです。代表的なシステムファイルの拡張子には「dll」、「com」、「vxd」、「exe」、「drv」、「ocx」、「inf」などがあります。

「システムファイルチェッカー」の使い方については、Windowsのヘルプをご覧ください。

チェック!! システムファイルチェッカーなどのシステムツールを使う前には、起動中のアプリケーションを終了させてください。

PART

4

トラブル解決　Q&A

トラブルの解決方法を具体的に説明しています。

はじめて電源を入れたとき

セットアップの画面が表示されない

◆ モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」というメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 【F2】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 **BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」**

2 【F9】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動します。

この後は『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

◆ その他のモデルの場合

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to Run SETUP」というメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 **BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」**

2 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動します。このあとは『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された

機種によっては、電源を入れたときに上記のメッセージが表示されますが、動作上問題はありません。

このメッセージが表示されないようにするには、以下のように設定してください。

チェック!! **下記の設定を行うと、ハイバネーション用のエリア不足等で警告メッセージが表示されなくなりますので、ご注意ください。**

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴが表示されたら、すぐにキーボードの【F2】を押し続けます。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! **【F2】を押し続けても、BIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。**

3 「省電力セットアップ」を選び、【Enter】を押します。

省電力セットアップの画面が表示されます。

4 トラブル解決Q&A

4 「自動ハイバネーション」を「使用しない」にします。

5 【Esc】を押して【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい」を選び、【Enter】を押します。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

☹ ➡ ☺ **5秒以上たってから、もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください**

◆ 名前を入力する画面が表示されたとき

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「名前を登録する」からセットアップを続けてください。

◆ 自動的にスキャンディスクがはじまったとき

スキャンディスクは、ハードディスクの表面やハードディスクに保存されているデータに障害がないか調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。

スキャンディスクで異常が発見されなかったときは、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見されたときは、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。

参照 **再セットアップをするときには→『活用ガイド　再セットアップ編』**

セットアップ時に登録した名前やふりがなを変更したい

セットアップ時に「Windows 98 へようこそ」で登録した名前やふりがなは、セットアップが完了すると変更できません。
どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「Windows 98 へようこそ」のウィンドウで名前やふりがなを入力します。

参照 **再セットアップするときには→『活用ガイド　再セットアップ編』**

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった（フリーズした）

本当にフリーズしていますか?

Windowsのセットアップは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても、数分～十数分画面が止まったようになることがあります。あわてて電源を切らないように注意してください。

電源を入れたとき

「Invalid system disk Replace the disk,…」と表示された

Windows 98またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないか確認してください

◆ フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

システムの入ったディスクをセットしなおすか、またはディスクを取り出して、何かキーを押してください。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、PC98-NXシリーズ用のWindows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。

◆ フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていなかったとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。

問題が発見されたときは画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindowsがインストールされていないときも、再セットアップしてください。

参照 **再セットアップをするときには→『活用ガイド　再セットアップ編』**

「Non-system disk or disk error」と表示された

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか?

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。
ディスクを取り出して何かキーを押すか、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

カーソル以外、画面に何も表示されない

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか?

システムの入ったフロッピーディスクやスーパーディスクをセットし直して何かキーを押すか、またはフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってから電源を入れ直してください。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」と表示された

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているか確認してください

◆ **フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき**

本機で使用できないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。フロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。ハードディスクからWindowsが起動します。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

◆ フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、FDISKコマンドを実行し、Cドライブの状態を調べてください。

参照 **Windows 98起動ディスクから本機を起動するには→「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい」(p.184)**

・ Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていないとき

FDISKオプションの「4.領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」がついているか確認してください。ついていないときは、Cドライブがアクティブでない状態であることを表しています。

FDISKオプションの「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

・ 「領域」のところに何も表示されていない。または、Cドライブの「システム」のところが「FAT32」または「FAT16」以外になっているとき

ハードディスクがフォーマットされていません。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧になり、再セットアップしてください。

参照 **再セットアップをするときには→『活用ガイド 再セットアップ編』**

ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーッというエラー音がした

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか?

フロッピーディスクやスーパーディスクによっては、このマニュアルに書かれていないメッセージが表示されたり、ピーッというエラー音がしたりします。起動時に「何かおかしいな」と思ったら、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないか確認してください。

◆ **フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき**

システムの入ったフロッピーディスクやスーパーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

◆ **フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき、または上記の手段でも問題が解決しなかったとき**

メッセージや症状を書きとめて、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

ディスプレイに何も表示されない

◆ **電源ランプが点灯していないとき**

ACアダプタは正しく接続されていますか? バッテリパックは取り付けられていますか? バッテリは充電されていますか?

『はじめにお読みください』をご覧になり、バッテリパックやACアダプタを接続しなおしてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリパックを取り付けているときは、バッテリの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

チェック!! **ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

◆ **電源ランプが点灯しているとき**

ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか?

以下の方法で、ディスプレイの輝度を調整してください。

- **モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合**
  【Fn】を押したまま【F7】または【F8】を押す

- **その他の機種の場合**
  【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押す

外付けのディスプレイを接続していませんか?

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニタ」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」をご覧ください。

液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか?

強制的に本機の電源を切った後、SafeモードでWindowsを起動して、解像度を設定し直してください。

参照

- **強制的に電源を切る方法→「強制的に終了させたい」(p.103)**
- **SafeモードでWindowsを起動する方法→「SafeモードでWindowsを起動する」(p.168)**

チェック!! **これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC　PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

Windowsが起動しない

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない可能性があります。次の方法でBIOSセットアップメニューの設定をご購入時の状態に戻して、もう一度電源を入れ直してください。

チェック!!

- **本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。**
- **BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパバイザパスワードとユーザパスワードは解除されません。**

◆モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

1. **本機の電源を入れます。**
2. **「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押し続けます。**

   BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! **【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。**

3 キーボードの【F9】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

5 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

◆その他のモデルの場合

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押し続けます。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! 【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

3 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

5 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された

「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されているか確認してください

「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角／全角】を押してください。次に表示される画面で「OK」ボタンをクリックすると、Windows 98がSafeモードで起動します。

チェック!!

- **Safeモードでは画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。Safeモードを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、Safeモードで起動してください。Safeモードで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。**
- **問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。再セットアップを行ってください。**

参照 **再セットアップするときには→『活用ガイド　再セットアップ編』**

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

Windowsが不正に終了した後は、次回Windowsを起動したとき、起動の途中で自動的にスキャンディスクが実行され、ハードディスクに異常がないかチェックが行われます。ハードディスクに異常がなければ、Windowsがそのまま起動します。
正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

チェック!! **再セットアップの必要があるとき**

- **スキャンディスクでシステムファイルに異常が発見されたとき**
- **異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき**
- **動作が不安定なとき**
- **画面が正しく表示されないとき**

メモ

正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態(サスペンド)にした内容が何らかの原因で失われてしまうと、このメッセージが表示されます。

参照 再セットアップするときには→『活用ガイド　再セットアップ編』

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

設定したパスワードを正しく入力しましたか?

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。

キャップスロックキーランプ(A)またはニューメリックロックキーランプ(1)が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプ(A)やニューメリックロックキーランプ(1)が点灯していると、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプ(A)が点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してキャップスロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプ(1)が点灯しているときは、ニューメリックロックを解除してから、パスワードを入力してください。

◆ ニューメリックロックの解除のしかた

- **モバイルノートの場合**
  【Fn】＋【F12】を押す
- **その他のモデルの場合**
  【Num Lock】を押す

パスワードを忘れてしまった

◆ Windowsのパスワードを忘れたとき

Windowsのパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windowsを再セットアップしてください。
「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。

メモ

本機の購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

◆ スーパバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったとき

スーパバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、NECフィールディングの各支店、営業所などにご連絡ください。

- **パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。**
- **パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。**
- **パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。**

  1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
  2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
  3. 印鑑

- **パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

◆ ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、ハードディスクに保存したデータを見られなくなります。

チェック!! **お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意してください。**

Windows 98の起動直前に、「Your hibernation file is either missing or corrupt...」のメッセージが表示された

メモリの取り付け/取り外しやCドライブの圧縮/圧縮解除/Cドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしませんでしたか?

メモリの取り付け/取り外しやCドライブの圧縮/圧縮解除/Cドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしたときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

参照 休止状態(ハイバネーション)の設定→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」

チェック!! ・機種によっては、電源を入れたときに毎回メッセージが表示されますが、動作上問題はありません。このメッセージを表示させないようにするには、次の手順を行ってください。

・下記の設定を行うと、ハイバネーション用のエリア不足等で警告メッセージが表示されなくなりますので、ご注意ください。

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴが表示されたら、すぐにキーボードの【F2】を押し続けます。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! 【F2】を押し続けても、BIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

3 「省電力セットアップ」を選び、【Enter】を押します。

省電力セットアップの画面が表示されます。

4 「自動ハイバネーション」を「使用しない」にします。

5 【Esc】を押して【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい」を選び、【Enter】を押します。

電源を入れたら「MACAFEEによる保護」または「VirusScan DATファイルのアップデート!」というメッセージが表示される

ウイルス検出用のウイルスデータファイルが古くなっている場合、最新のウイルスを検出するために、ウイルスデータの更新をうながすメッセージが表示されます。

インターネットに接続できる場合は、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックすると自動的に最新のDATファイルをダウンロードし、アップデートすることができます。

インターネットに接続できない場合は「キャンセル」ボタンもしくは「OK」ボタンをクリックしてください。

電源を切るとき

正しい電源の切りかたを知りたい

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

2 「電源を切れる状態にする」をクリックして◉(オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプが消えます。

メモ

「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合は、電源スイッチを操作したときにスリープ状態になりますので、ご注意ください。

Windowsが終了できない

Windowsのデバイスマネージャで「標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が☑(オン)になっている場合は、下記の手順で設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「フロッピーディスクコントローラ」の左の⊞をクリックし、「標準フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックします。

「標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ」の画面が表示されます。

3 「全般」タブで「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が☑(オン)になっている場合は、クリックして□(オフ)にします。

4 「OK」ボタンをクリックします。

強制的に終了させたい

p.102の手順で電源が切れないときは、アプリケーションがフリーズ(ハングアップ)するなどの異常を起こしていることが考えられます。
次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、本機の電源を切ってください。

チェック!! この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

◆ 強制的にアプリケーションを終了させる

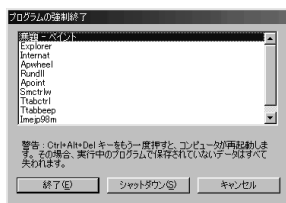
1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

プログラムの強制終了

無題 - ペイント
Explorer
Internat
Apwheel
Rundll
Apoint
Smctrlw
Ttabctrl
Ttabbeep
Imejp98m

警告 : Ctrl+Alt+Del キーをもう一度押すと、コンピュータが再起動します。その場合、実行中のプログラムで保存されていないデータはすべて失われます。

終了(E)　シャットダウン(S)　キャンセル

チェック!! 「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。
「プログラムの強制終了」の画面を閉じる場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。

2 右側に「応答なし」と表示されているアプリケーションがあるときはアプリケーション名をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。

異常を起こしているアプリケーションが強制的に終了します。

この方法でも正常に電源を切ることができないときは、次のようにして本機を強制的に終了させてください。

◆ 強制的に電源を切る

1 電源スイッチを約4秒以上操作し続けます。

チェック!! **「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。**

◆ 電源を強制OFFできないとき

約4秒以上電源スイッチを操作し続けても電源を切れないときには、もう一度約4秒以上電源スイッチを操作し続けてください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

キーボードの【⊞】を押し、保護エラーが表示された

電源スイッチを約4秒以上操作し続けてWindowsを強制終了してください。

キーボードの【⊞】は、Windowsの起動完了後、またはアクティブなウィンドウが存在する状態で押すようにしてください。
次のような場合にキーボードの【⊞】を押すと保護エラーが表示される場合があります。

- Windowsの起動途中
- 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」→「Web発行ウィザード」をクリックし、起動後すぐに「キャンセル」ボタンをクリックしてWeb発行ウィザードを終了させたとき
- 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システム　ツール」→「ネット　ウォッチャー」をクリックし、警告メッセージが表示され「OK」ボタンをクリックしてネットウォッチャーを終了させたとき
- その他、アクティブなウィンドウがないとき

省電力機能

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。

実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか?

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源を約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時、画面が表示されない

キャップスロックキーランプ(🄰)とスクロールロックキーランプ(⇅)が交互に点灯していませんか?

スリープ状態から復帰(レジューム)したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ(🄰)とスクロールロックキーランプ(⇅)が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。
電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

チェック!! **スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。**

NXパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作してください

操作すると画面が正常に復帰(レジューム)します。

休止状態(ハイバネーション)にしようとするとスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう

休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか?

『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」を見て設定してください。

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け/取り外しやCドライブの圧縮/圧縮解除/Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか?

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け/取り外しやCドライブの圧縮/圧縮解除/Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション)の再設定が必要です。

参照　**休止状態(ハイバネーション)について→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」**

ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される

ハードディスク内の空き領域が不足していませんか?

ハイバネーション設定ユーティリティでは、実装しているメモリ容量によって作成される休止状態(ハイバネーション)用のファイルの大きさが変わります。必要な連続した空き領域を確保してから休止状態(ハイバネーション)の設定を行ってください。

Windowsの起動直前に、「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された

メモリの取り付け／取り外しやCドライブの圧縮／圧縮解除／Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか?

メモリの取り付け／取り外しやCドライブの圧縮／圧縮解除／Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

参照 **休止状態(ハイバネーション)の設定→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」**

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合、Windows起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

休止状態(ハイバネーション)にできない

休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

アプリケーションや周辺機器は、休止状態(ハイバネーション)に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れなおしてください。電源を切ることができない場合は、電源を約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態(ハイバネーション)にしないでください。

スリープ状態から復帰（レジューム）したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

バッテリの残量はありますか?

ACアダプタを接続し、液晶ディスプレイを開いた状態で本機の電源を入れると、データが復帰（レジューム）できる場合があります。

アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源を約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態（サスペンド）にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰（レジューム）させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

パソコンがスリープ状態への移行処理中、またはスリープ状態から復帰（レジューム）中に次の操作を行いませんでしたか?

・ディスプレイのフタを閉めた

・電源を切った

これらの操作を行うと、復帰（レジューム）できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

「システム スタンバイ」の設定どおりにスタンバイ状態（サスペンド）にならない

「システム スタンバイ」の時間が「モニタの電源を切る」の時間より後に設定されていませんか?

「コントロールパネル」の「電源の管理」アイコンをダブルクリックして「システム スタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合には、「モニタの電源を切る」が実行された時点から設定時間が経過したときにスタンバイ状態（サスペンド）になります。

例えば、「システム スタンバイ」を20分後、「モニタの電源を切る」を15分後に設定した場合、スタンバイ状態（サスペンド）になるのは、「モニタの電源を切る」（15分後）から20分経過した35分後になります。

また、キーボードやNXパッドなどのポインティングデバイスの入力が無くなってから20分後にスタンバイ状態（サスペンド）になるように設定したい場合は、次の例のように設定してください。

例1　「システム スタンバイ」：15分後
「モニタの電源を切る」：5分後

例2　「システム スタンバイ」：20分後
「モニタの電源を切る」：なし

バッテリ

ACアダプタを接続してもバッテリの充電が始まらない

バッテリがフル充電されていませんか?

バッテリがフル充電されている場合はバッテリ充電ランプが消灯しています。既にバッテリがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことがあります。

バッテリパックが接触不良を起こしていませんか?

バッテリパックが接触不良のときには、バッテリ充電ランプが点滅します。バッテリパックを取り外し、もう一度取り付け直してください。

インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない

バッテリパックは取り付けられていますか?

バッテリパックが取り付けられていないと電源アイコン( )は表示されません。

バッテリパックから本機を駆動していませんか?

バッテリパックから本機を駆動している場合は、電源アイコン( )が表示されません。

「コントロールパネル」の「電源の管理」で、「アイコンをタスクバーに常に表示する」はオンになっていますか?

1 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「詳細」タブの「アイコンをタスクバーに常に表示する」が □(オフ)になっているときは、クリックして ☑(オン) にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが閉じ、インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されます。

フル充電したのに、バッテリ充電ランプが点灯する

バッテリは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリ充電ランプが点滅する

バッテリが正しく取り付けられていますか?

電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「バッテリ」の「バッテリリフレッシュ」をご覧になり、バッテリリフレッシュを行ってください。バッテリリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリパックの寿命ですので、別売のバッテリパックと交換してください。

表示

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

「コントロールパネル」の「電源の管理」で「モニタの電源を切る」を設定していませんか?

NXパッドなどのポインティングデバイスを操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」をご覧になり、スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい

次の操作をするとデスクトップ画面はWindows 95に近いものになります。

1. **「マイコンピュータ」を開き「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。**

   「フォルダオプション」の画面が表示されます。

2. **「全般」タブの「Windows デスクトップのアップデート」で「従来のWindowsスタイル」を選んで「OK」ボタンをクリックします。**

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

MS-DOSモードを終了してWindowsに戻りたい

「EXIT」と入力して【Enter】を押します。

Windowsが起動します。

MS-DOSプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させても画面が表示されない

【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えると、正常に動作するようになります。

MS-DOSプロンプト画面で、Windowsのスクリーンセーバーが起動した

Windowsのスクリーンセーバーを設定している場合、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトで別売のマウス操作のみ行っていると、Windowsのスクリーンセーバーが起動することがあります。
次の手順で、スクリーンセーバーが動作しないように設定してください。

1 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

MS-DOSプロンプトが、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に変わります。

2 【Alt】を押したまま【スペース】を押します。

MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。

3 メニューから「プロパティ」を選択します。

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。

4 「その他」タブをクリックし、「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使う」の ☑(オン)をクリックして □(オフ)にします。

5 「OK」ボタンをクリックします。

6 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

ディスプレイの省電力機能を設定できない

メモ

ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。

ディスプレイは省電力機能に対応していますか?

省電力機能は、パソコン本体やパソコンに接続されている周辺機器の電源を詳細に設定し、電力消費を節減することができる機能です。なお、省電力機能に対応していないディスプレイでは、この機能は設定できません。ディスプレイが省電力機能に対応しているか、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧になり、確認してください。

「コントロールパネル」の「画面」でディスプレイの種類が表示されていますか?

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。

「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。

3 「省電力モニタ」をクリックして☑(オン)にします。

参照 **ディスプレイの種類を指定するときには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」**

実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください

ディスプレイの種類が表示されているときは、実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください。
電話回線を使用中のときは、回線を切ってください。

「ディスプレイの種類が指定されていません…」というメッセージが表示される

☹➡☺ **「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか?**

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。

「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。

参照 **ディスプレイの種類を指定するには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」**

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作を行ってください。

1 ディスプレイを接続し、Windowsを起動します。

起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。

2 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。

4 「オプション」の「プラグ　アンド　プレイ　モニタを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして □ (オフ)にします。

5 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

6 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

7 「再起動する」を⊙(オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。

Windowsが再起動します。

8 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

9 「設定」タブをクリックします。

10 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして「変更」ボタンをクリックします。

「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

11 「次へ」ボタンをクリックします。

12 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を⊙(オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

13 「すべてのハードウェアを表示」を⊙(オン)にします。

デバイス ドライバの更新ウィザード
ハードウェアの製造元とモデルを選択してください。ディスクに更新されたドライバがある場合は、[ディスクの使用] をクリックします。更新されたドライバをインストールするには、[次へ] をクリックしてください。
製造元(M):
(標準モニタの種類)
Aamazing Technologies, Inc.
Acer
Actix Systems, Inc.
Adara Technology, Inc.
ADI Systems, Inc.
モデル(D):
Super VGA 800x600
Super VGA 1024x768
Super VGA 1024x768 @ 75 Hz
Super VGA 1280x1024
Super VGA 1280x1024 @ 75 Hz
Super VGA 1600x1200
Super VGA 800x600 @ 75 Hz
互換性のあるハードウェアを表示(C)
すべてのハードウェアを表示(A)
ディスク使用(H)...
< 戻る(B) 次へ > キャンセル

画面はモデルによって多少異なります

14 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。

ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 **ディスプレイの製造元とモデル→ディスプレイ添付のマニュアル**

15 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。

16 **「完了」ボタンをクリックします。**

17 **「閉じる」ボタンをクリックします。**

18 **「OK」ボタンをクリックします。**

19 **Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックしてください。**

再起動後、高解像度を選ぶことができるようになります。

参照 **解像度の変更をするときには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART 1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」**

ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの輝度（明るさ）は適切ですか?

ディスプレイの輝度を調整してください。

- **モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）の場合**
  【Fn】を押したまま【F7】または【F8】を押す
- **その他の機種の場合**
  【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押す

液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか?

強制的に本機の電源を切ったあと、Safeモードで Windowsを起動して、解像度を設定しなおしてください。

参照
- **強制的に電源を切る方法→「強制的に終了させたい」（p.103）**
- **SafeモードでWindowsを起動する方法→「SafeモードでWindowsを起動する」（p.168）**
- **解像度を設定する方法→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」**

別売のディスプレイが接続されていませんか?

別売のディスプレイを接続し、画面の出力先が「CRT」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。接続しているディスプレイの電源が入っていることを確認してください。

メモ

【Fn】+【F3】で画面の出力先を切り替えることができます。

DirectXに対応したアプリケーションを実行しませんでしたか?

DirectXに対応した一部のゲームなどのアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションの添付マニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。

メモ

320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、本機では正常に動作しない場合があります。

これらのチェックを行っても画面に何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

画面が真っ暗になった

「コントロールパネル」の「電源の管理」で「モニタの電源を切る」を設定していませんか?

NXパッドかキーボードを操作すると元の画面が表示されます。元に戻らない場合は、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

表示や色がおかしい

Windowsの表示色を256色にしていませんか?

アプリケーションによっては、表示色を256色に設定していると、画面の色が正しく表示されない場合があります。次の操作をすると正しく表示されるようになることがあります。

1 **デスクトップ上のウィンドウやアイコン、タスクバー以外の部分を右クリックします。**

2 **表示されたメニューから「アクティブデスクトップ」をポイントします。**

3 **「Webページで表示」をクリックします。**

「Webページで表示」のチェックマークが表示されなくなります。

解像度や表示色を変更できない

「互換性の警告」の画面から本機を再起動しようとしませんでしたか?

「コントロールパネル」の「画面」アイコンをダブルクリックして解像度や表示色の設定を変えたときに、「互換性の警告」ウィンドウが表示されませんでしたか?「互換性の警告」ウィンドウで「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックすると、本機を正常に再起動できない場合があります。一度強制的に本機の電源を切った後、もう一度電源を入れてください。

「互換性の警告」の画面が表示されている場合は次のように対処してください。

1 **「再起動せずに設定を適用する」を選んで「OK」ボタンをクリックします。**

2 **「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックします。**

3 **「再起動する」を◉にして、「OK」ボタンをクリックします。**

本機が再起動します。

スクリーンセーバー復帰時に保護エラーが表示された

以下の操作を行ってください。

1 **エラーメッセージ中の「閉じる」ボタンをクリックする**

2 **「Active DeskTopの修復」メッセージが表示された場合は、「Active DeskTopを元に戻す」をクリックし、「Active DeskTopを元に戻しますか」が表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

操作後、画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)のアイコンが一部表示されなくなりますが、Windowsを再起動すると正常に表示されます。

「システムのプロパティ」の「全般」タブに、使用しているCPUと違う名前が表示される

表示だけの問題であり、動作上は問題ありません。

NXパッド

画面反転時にNXパッドの操作と画面のポインタの動作が合わない(モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合)

NXパッドドライバをインストールしてください。

参照 **NXパッドドライバのインストールについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「NXパッド」**

NXパッドの拡張機能を使用したい

NXパッドの拡張機能を使用したい場合は、NXパッドのドライバをインストールしてください。

参照 **NXパッドドライバのインストールについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「NXパッド」**

何も反応しない、または反応が鈍い

◆ キーボードのキーを押すと反応する

スクロール領域で操作していませんか?

NXパッドドライバをインストールした場合は、NXパッドのスクロール機能が有効になります。パッドのスクロール領域(右端、下)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。スクロール機能のオン/オフは「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「ジェスチャー」タブで設定できます。

指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

NXパッドを使用しない設定になっていませんか?

◆モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

BIOSセットアップメニューの「詳細(Advanced)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

◆その他のモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ(Advanced CMOS Setup)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

参照 **BIOSセットアップメニューの設定→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」**

「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されていませんか?

NXパッドドライバをインストールした場合は、次の手順でボタンの設定を変更することができます。

1 **「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。**

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 **「ボタン」タブの「ボタン設定」で「左ボタン」「右ボタン」「左右ボタン」の設定を使いやすいように設定してください。**

必ずどれか1つに「クリック」を設定してください。

3 **「OK」ボタンをクリックします。**

◆ 反応が鈍い

ポインタの速度が遅くなっていませんか?

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブで「速度」を調整してください。

◆ キーボードのキーを押しても反応しない

マウスポインタが砂時計の形⌛に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。
しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには→「強制的に終了させたい」(p.103)

【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される「プログラムの強制終了」の画面で、ウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックしませんでしたか?

「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。
操作を中断する場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。
もしも操作ができなくなってしまった場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制終了してください。

コントロールパネルのキーボードの設定は適切ですか?

下記のようにして設定を確認してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「Mitsumi USB Quick Scroll Mouse」をダブルクリックします。

3 「全般」タブの「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が□(オフ)になっていることを確認してください。

チェック!! 「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」を☑(オン)にすると、キーボードやNXパッドなどのポインティングデバイスの操作ができなくなる場合があります。

NXパッドが動作しない

NXパッドドライバをインストールした場合は、誤動作防止のため、キー入力時にはNXパッドからの操作が無効になるように設定されます。
この設定を解除するには、次の手順で設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「タッピング」タブをクリックし、「タイピング」の「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」の☑(オン)をクリックして□(オフ)にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

文字入力

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

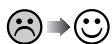
マウスポインタが砂時計の形⌛に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。
しばらく待ってもキーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 **強制終了をするときには→「強制的に終了させたい」(p.103)**

【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される「プログラムの強制終了」の画面で、ウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックしませんでしたか?

「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。
操作を中断する場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。
もしも操作ができなくなってしまった場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制終了してください。

別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある

キーボードの設定は行いましたか?

設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。

チェック!! **この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えなくなることがあります。**

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 **「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の ⊞ をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。**

3 **「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。**

デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。

4 **「次へ」ボタンをクリックします。**

5 **「現在使用しているデバイスよりさらに適したデバイスを検索する(推奨)」の◯(オフ)をクリックして⊙(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックします。**

6 **「検索場所の指定」の □(オフ)をクリックして ☑ (オン)にし、キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定します。**

7 **「次へ」ボタンをクリックします。**

これ以降は画面の指示に従って設定してください。

☹➡☺ コントロールパネルのキーボードの設定は適切ですか?

Mitsumi USB Quick Scroll Mouseを接続している場合は、下記のように設定を確認してください。

1 **「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。**

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

2 **「デバイスマネージャ」タブをクリックして「Mitsumi USB Quick Scroll Mouse」をダブルクリックします。**

3 **「全般」タブの「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が□(オフ)になっていることを確認してください。**

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

☹➡☺ キャップスロックキーランプ(🄰)が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプ(🄰)が点灯している状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。
【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

ニューメリックロックキーランプ（1）が点灯していませんか?

ニューメリックロックキーランプ（1）が点灯しているときには、モバイルノートの場合は、キー上段に青または黄色で表示されている数字や記号が入力され、その他のモデルの場合は、キー前面に印字されている数字や記号が入力されます。ニューメリックロックを解除すると、通常の文字が入力される状態になります。

◆ ニューメリックロックの解除のしかた

- **モバイルノートの場合**
  【Fn】＋【F12】を押す

- **上記以外のモデルの場合**
  【Num Lock】を押す

入力したいモードになっていますか?

日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角／全角】を押します。
日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押します。

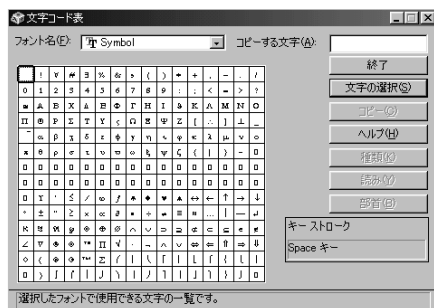
別売の98配列USBキーボード（バスパワードハブ付き）を使っていませんか?

別売の98配列USBキーボード（バスパワードハブ付き）（PK-KB011）を使っているときは、内蔵キーボードは使用できません。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「文字コード表」をクリックします。

「文字コード表」ウィンドウが表示されます。

2 **文字コード表の文字をダブルクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。**

メモ

貼り付け先でフォントの再指定が必要なものもあります。

参照 **文字コード表を使うとき→文字コード表のヘルプ**

MS-DOSプロンプトのとき、バックスラッシュ(\)が入力できない

\の代わりに¥を入力して代用することができます。

例） 英語モード .... >\cd

日本語モード .. >¥cd

バックスラッシュ(\)は、MS-DOSプロンプトが日本語モードの場合はキーを押しても入力できません。入力したい場合は次の手順で一度英語モードにしてください。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックします。**

「MS-DOSプロンプト」の画面が表示されます。

2 **「US」と入力して【Enter】を押します。**

これで英語モードになります。日本語モードにもどす場合は、手順2で「JP」と入力してから【Enter】を押してください。

98配列キーボードを使いたい

☹➡☺ 下記の手順で設定してください

このパソコンでは、別売の98配列USBキーボード(バスパワードハブ付き)(PK-KB011)を使うことができます。このキーボードを使用する場合は、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

3 「キーボード」の左の[+]をクリックし、「106 日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」か「NEC Note Keyboard with One-touch start buttons」をクリックしてから「プロパティ」ボタンをクリックします。

4 「ドライバ」タブをクリックします。

5 「ドライバの更新」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

7 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面で「すべてのハードウェアを表示」をクリックします。

8 「製造元」から「NEC Keyboard drivers」を選択し、さらに、「モデル」から次のどちらかのドライバを選択します。

- **NEC 98 Layout Keyboard(CTRL+XFER)**

  Windows上での日本語入力のOn/Off切り替えを【CTRL】+【XFER】で行うことができます。

- **NEC 98 Layout Keyboard (XFER)**

  Windows上での日本語入力のOn/Off切り替えを【XFER】で行うことができます。

9 「次へ」ボタンをクリックします。

10 「ドライバ更新の警告」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

11 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。

12 「KBD98AR.CATが見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合は、製造元ファイルのコピー元に「C:¥OPTIONS¥KEYBOARD¥NEC¥USB98」を指定し、「OK」ボタンをクリックします。

チェック!! 「jkeyb.sysが見つかりませんでした。」と表示された場合は、製造元ファイルのコピー元に「C:¥WINDOWS」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

13 「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

14 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

本機が再起動します。

チェック!! メッセージが表示されない場合は、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選択して本機を再起動してください。

15 98配列USBキーボードを接続します。

チェック!! 「USBKB.catが見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合は、製造元ファイルのコピー元に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

これで設定は終了です。

チェック!! 別売の98配列USBキーボード(バスパワードハブ付き)(PK-KB011)を使っているときは、本機のキーボードは使えません。

ファイル保存

ハードディスクに保存できない

ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(→p.156)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない

フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか?

ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 **ライトプロテクトを解除するには→「読み込みはできるが、書き込みができない」(p.153)**

ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

MOドライブやハードディスクなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。本機では、市販のMOドライブやハードディスクなどを接続することができます。

長いファイル名をつけられない。表示できない

MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトを使っていませんか?

Windows 98で、Windows 98またはWindows 95用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

インターネット／パソコン通信

接続できない

URLが正しく入力されていますか?

入力したアドレスが間違っていると、「ページが見つかりません」などのメッセージが表示されて接続できません。

URL(http://…ではじまるアドレス)には、大文字、小文字の区別があります。すべて半角で入力し、コロン(:)、スラッシュ(/)、ピリオド(.)、チルダ(~)などが抜けないようにしてください。

モデムがきちんとセットアップされていますか?

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧になり、セットアップしてください。

接続は正しくできていますか?

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

電話回線の設定は正しいですか?

ご利用の電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線)かをご確認ください。電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

また、ご利用の電話回線が外線発信の必要な場合は、外線発信番号が設定されているかをご確認ください。パソコンの回線の設定を「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで確認し、ご利用の電話回線に合わせます。

電話回線の設定は、「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックして表示される「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで行ってください。

ご使用になる地域の市外局番が“0”ではじまる場合、最初の“0”を除いた番号を入力します。携帯電話／PHSの場合は「000」を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します

ダイヤルアップの設定は正しいですか?

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの画面で、正しく設定できているかを確かめてください。

インターネットエクスプローラの接続設定は正しいですか?

1 「コントロールパネル」の「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルアップの設定」で「通常の接続でダイヤルする」が◉（オン）になっているか確認します。

電話番号は正しいですか?

接続先の電話番号をもう一度確かめてください。

回線が混雑していませんか?

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

電話を使っていませんか?

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

キャッチホンサービスを受けていませんか?

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか?

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

FAXモデムは動作していますか?

デバイス マネージャの画面を表示して(→p.167)、FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「!」がついているときは、正しく認識されていません。Windowsのヘルプを参照して、「×」や「!」がついていない状態にしてください。

親機の通信圏外でダイヤルしようとしていませんか?(ワイヤレスモデルの場合)

別売の親機との有効通信圏は最大約100m以内です。有効通信圏内でダイヤルしなおしてください。
BIOSセットアップメニューで設定すると、圏内/圏外の状況をランプで表示させることができます。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「表示ランプ」をご覧ください。

親機の設定が間違っていませんか?(ワイヤレスモデルの場合)

購入時の状態では、別売の親機のダイヤル方法は「パルス」(20pps)に設定されています。ご利用の電話回線のダイヤル方法が「トーン」(プッシュ信号)や「パルス」(10pps)の場合、別売の親機の設定を変更する必要があります。

参照 別売の親機に添付のマニュアル

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されているか確認してください。」と表示される

ポート(COM値)は接続されていますか?

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。

通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

◆ モデムが外付けのとき

モデムの電源と接続を確認してください。

参照 周辺機器のマニュアル

他にも電話回線を使うアプリケーションを起動していませんか?

他にも電話回線を使うアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了してからインターネットに接続してください。

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

通信相手との通信条件は正しいですか?

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

本機の近くにテレビやラジオなどがありませんか?

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。
本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。

◆ **Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき**

メールの送信形式をテキスト形式にしてください。
ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

1. **Outlook Expressの「ツール」メニューから「オプション」をクリックします。**
2. **「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。**
3. **「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。**
4. **「ニュース送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。**
5. **「OK」ボタンをクリックします。**

   これで送信形式が変更されました。

メモ

メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして☑（オン）にします。

半角のカタカナや特殊記号を使っていませんか?

半角のカタカナや特殊記号（丸付き数字や罫線文字など）は使わないでください。

件名（サブジェクト）に漢字やひらがなを使っていませんか?

件名（サブジェクト）には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでください。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にしてください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない

メールに添付したファイルサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか?

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

メモ

圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

Outlook Expressで電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信する設定を行っていますか?

相手もOutlook Expressを使っている場合、次の手順を行うと、サイズが制限されているプロバイダのサーバーに、制限を超えるサイズの電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信できます。分割して送信された電子メールは受信先で結合され、1つの電子メールになります。

1. **Outlook Expressの「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。**
2. **「メール」タブまたは「ニュース」タブをクリックし、アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。**
3. **「詳細設定」タブをクリックし、「次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する」をチェックしてオンにします。**
4. **プロバイダが許可している最大のサイズを入力します。**

   メールのサイズの上限については、加入しているプロバイダにご確認ください。

Outlook Expressでサーバーのタイムアウトまでの時間が短く設定されていませんか?

1. **Outlook Expressの「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。**
2. **アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。**
3. **「詳細設定」タブで「サーバーのタイムアウト」のつまみを右にドラッグして、時間を調節します。**

「発信音がありません。」と表示された

電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラーケーブルが抜けていたり浮いていたりしませんか?
電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

内線／外線の区別がある電話回線を使っていませんか?

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない、または通常の発信音(「ツー」という長い音)以外の音が聞こえる場合は、次の手順に従って設定してください。

1. **デスクトップ上の「マイコンピュータ」にある「ダイヤルアップネットワーク」を開きます。**
2. **使用する接続先のアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。**
3. **「全般」タブの「接続の方法」の「設定」ボタンをクリックします。**

   「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
4. **「接続」タブの「接続オプション」の「トーンを待ってからダイヤルする」の☑(オン)をクリックして□(オフ)にします。**
5. **「OK」ボタンをクリックします。**
6. **「OK」ボタンをクリックします。**
7. **アクセスポイントのアイコンをダブルクリックします。**
8. **「ダイヤルのプロパティ」をクリックして、「外線発信番号」を入力します。**

   たとえば、0発信が必要な場合は、「外線発信番号」の「市内通話」と「市外通話」にそれぞれ「0」を入力します。
9. **「OK」ボタンをクリックし、「キャンセル」ボタンをクリックします。**

アプリケーションによっては独自に設定を保存している場合があります。このようなアプリケーションをお使いの場合は、各アプリケーションのマニュアルに従って設定を変更してください。

チェック!! **ワイヤレスモデルで別売の親機をご利用の場合、構内変換機によっては外線発信番号のダイヤル間隔に対応できない場合があります。その場合は、外線発信番号が必要のない電話回線をご利用ください。**

4 トラブル解決Q&A

加入電話回線以外の回線と接続していませんか?

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。また、本機を破損するおそれがあります。

「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された

電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか?電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

トーンまたはパルスの設定は正しいですか?

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。次の手順に従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。
電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

1. **「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。**

   「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2. **「ダイヤル方法」欄で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。**
3. **「OK」ボタンをクリックします。**

「回線はビジーです。」と表示された

電話回線が混み合っていませんか?

しばらく待ってからもう一度接続し直してください。

トーンまたはパルスの設定は正しいですか?

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。上記の「「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された

電話回線にはトーン式（プッシュ回線）とパルス式（ダイヤル回線）の2通りがあります。p.138の「「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン／パルス、外線発信番号（“0”）の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期／非同期設定に誤りがあります」と表示された

電話回線の設定は正しいですか?

次の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

1 **「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。**

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確認して設定してください。

ご使用になる地域の市外局番が“0”ではじまる場合、最初の“0”を除いた番号を入力します。携帯電話／PHSの場合は「000」を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します

2 **「OK」ボタンをクリックします。**

ISDN回線の同期／非同期の設定は正しいですか?

デスクトップ上の「マイコンピュータ」にある「ダイヤルアップネットワーク」を開き、アクセスポイントのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックすると、「接続の方法」欄にドライバが表示されます。

一般に、「SYNC」という部分があれば同期、「ASYNC」という部分があれば非同期です。また「128」という部分があれば128kbps接続です。これらがプロバイダが公開しているアクセスポイントの設定と同じか確認し、間違っているときは設定しなおしてください。

ダイヤラでダイヤルできない

「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「ダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がしなかったり、音が小さいときは次の手順で調整してください。

◆ モバイルノート（ベイ内蔵型）の場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」、「あり」と変化します。

◆ モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）の場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して、音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」、「小」、「中」、「大」と変化します。

◆ 上記以外のモデルの場合

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。

・これを右にドラッグすると大きな音になります。

・「オフ」になっているとモデムからの音がしなくなります。

画面はモデルによって多少異なります

3 **「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。**

チェック!!

- **モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音がしないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接続できない」(→p.131)をご覧になり、対処してください。**
- **上記の方法でも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、モデムの製造元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするとこのメッセージが表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン作業」をクリックしてください。
「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

インターネットエクスプローラや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

インターネットエクスプローラやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、インターネットエクスプローラやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、オンラインサポートをクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

接続は正しくできていますか?

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

発信命令の送り方や条件は正しいですか?

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確かめてください。

メモ ATコマンド一覧を見る方法

モデムが内蔵されているモデルでは、次のようにしてATコマンド一覧を参照することができます。

1. **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。**
2. **「名前」欄に「C:¥windows¥SCmodem¥Atc¥Html¥Atc000.HTM」と入力します。**
3. **「OK」ボタンをクリックします。**

インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない

ダイヤルアップネットワーク接続の場合、インターネットエクスプローラを終了しても 回線が接続されたままになることがあります。回線の切断が必要な場合は、インジケータ領域(タスクトレイ)の「ダイヤルアップネットワーク」アイコンを右クリックし、「切断」をクリックしてください。

ネットワーク（LAN）

ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「LAN（ローカルエリアネットワーク）」をご覧になり、リンクケーブルを接続してください。
また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

接続は正しくできていますか?

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB（ハブ）がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

設定が間違っていませんか?

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。
詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

◆ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

◆ ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

共有ドライブやフォルダが使えない

「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか?

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。
「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。

お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか?

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。
利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか?

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

メモ

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。

【F12】を押してもネットワークブートができない

「NEC」のロゴ画面で【F12】を押し続けてもネットワークブート処理が実行されないことがあります。この場合、再度【F12】を押しながら電源を入れてください。

赤外線通信
（赤外線通信ポートのあるモデルの場合）

赤外線通信できない

本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか?

お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20〜80cmの距離のところに置いてください。

デバイスを正しく設定していますか?

『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり正しい設定を行ってください。

デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」や黄色い「!」が付いていませんか?

「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
赤外線通信のところに赤い「×」や黄色い「!」が付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。
Windowsのヘルプまたは『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。

BIOSの設定は正しいですか?

◆コンパクトオールインワンノートのワイヤレスモデル及び内蔵指紋センサモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定し、「赤外線ポート切り替え(IR Port Switch)」を「IR」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

◆ その他のモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された（モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）のみ）

デバイスを正しく設定していますか?

BIOSセットアップメニューで、赤外線ポートを使用しない設定にしている場合は、このようなメッセージが表示されます。

『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり、赤外線通信機能を利用するための準備を行ってください。

Outlook Expressの「仕事」アイテムをシンクロナイズしたら、誤った期限が設定された

リモート機側にある期限指定無しの「仕事」アイテムを「PIMシンクロナイズ」で取り込むと、誤った期限が設定されることがあります。このような場合は、「PIMシンクロナイズ」終了後に誤った期限を修正するか、リモート機側にある「仕事」アイテムにあらかじめ期限を設定してから「PIMシンクロナイズ」を行ってください。

光デジタル出力機能（ハイスペックノート、モバイルノートの場合）

デジタル出力からの音が鳴らない

オーディオ機器と正しく接続されていますか?

本機の光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。

オーディオ機器のサンプリングレートが、本機のサンプリングレートに対応していますか?

本機の光デジタル出力のサンプリングレートは48KHzです。接続先のオーディオ機器が48KHzのサンプリングレート入力に対応しているか確認してください。

印刷

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

プリンタの電源は、入っていますか?

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか?

『活用ガイド　ハードウェア編』PART2の「プリンタ」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。

プリンタが用紙切れ、トナーやインク切れになっていませんか?

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、プリンタから印刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。
このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1. **「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。**

   「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2. **使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。**

3. **「プリンタ」ウィンドウを閉じます。**

   これで設定が終了しました。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか?

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか?

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか?

プリンタによっては、プリンタの製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧になり、ケーブルを確認してください。

使用したいプリンタ用のプリンタドライバがインストールされていますか?

新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 **プリンタドライバのセットアップ→プリンタのマニュアル**

プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 **プリンタドライバの設定→プリンタのマニュアル**

デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューの「パラレルポート(Parallel Port)」を「使用しない(Disabled)」設定にしている場合は、設定を解除してください。

参照 **デバイスの設定→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」**

印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィンドウが表示されることがあります。
このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。**

3 **「プリンタ」ウィンドウを閉じます。**

これで設定が終了しました。

フロッピーディスク／スーパーディスク

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない

フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか?

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

◆「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。
同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。
クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。
このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

チェック!! **他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

メモ

ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。
また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

◆しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、フォーマットされていないことが考えられます。
ディスクに必要なファイルが入っていなければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

読み込みはできるが、書き込みができない

ディスクがライトプロテクトされていませんか?

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

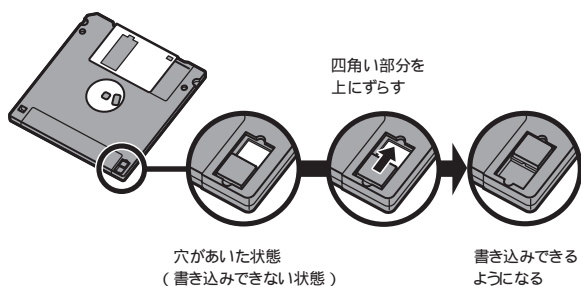
メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクには、記録されている内容を間違って消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるほうにずらしてください。

◆フロッピーディスクの場合

四角い部分を
上にずらす

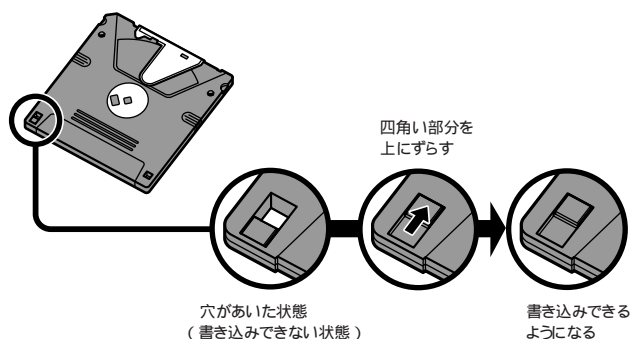
穴があいた状態
(書き込みできない状態)

書き込みできる
ようになる

システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

◆スーパーディスクの場合

四角い部分を
上にずらす

穴があいた状態
（書き込みできない状態）

書き込みできる
ようになる

2DDのフロッピーディスクに書き込みができない

2DDのフロッピーディスクを720Kバイトでフォーマットした場合、いったんフロッピーディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。
フォーマット後にフロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していても、エラーが発生する場合があります。
なお、クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。

チェック!! **必要なディスクをフォーマットしてしまわないよう、十分注意してください。大切なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。**

ディスクコピーやフォーマットができない

セットしたディスクの容量を確認してください

Windows 98では、1.2Mバイトや120Mバイトでフォーマットされたディスクをディスクコピーしたり、フロッピーディスクを1.2Mバイトの容量でフォーマットしたりすることはできません。

次の手順でセットしたフロッピーディスクの容量を確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 「マイコンピュータ」ウィンドウの「3.5インチフロッピーディスク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「全般」タブでフロッピーディスクの容量を確認します。

なお、スーパーディスクドライブですでに1.2Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスクを1.44Mバイトにフォーマットし直そうとすると、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」から「MS-DOSプロンプト」を起動して、次のように入力してください。

FORMAT A: /F:1.44【Enter】

スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない（ハイスペックノートのみ）

☹➡☺ パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。
電源が入っているのにディスクを取り出せないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「フロッピーディスクドライブ／スーパーディスクドライブ」をご覧になり、スーパーディスクを取り出してください。

ハードディスク

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

●ハードディスクを増設する

●「ディスク クリーンアップ」でハードディスクの必要のないファイルを削除する

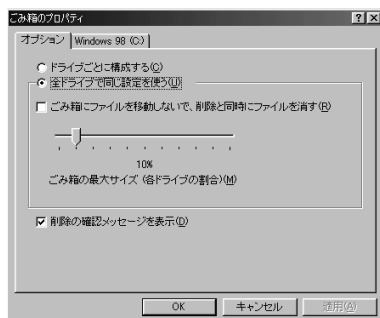
パソコンを使っていくと、「ごみ箱」に捨てたファイルやアプリケーションが作成する一時作業用ファイル、インターネットの一時保存ファイル、使わなくなったアプリケーションや、どのプログラムからも呼び出されていない「DLLファイル」などが蓄積され、ハードディスクが容量不足になることがあります。そのようなときは、「ディスク クリーンアップ」を使うと必要のないファイルを簡単に削除することができ、ハードディスクの容量を増やすことができます。
ディスク クリーンアップについては、Windowsの「ヘルプ」で「ディスク クリーンアップ」をキーワードにして検索してください。

●「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。
ごみ箱を空にしてもアイコンが消えない場合は、「ごみ箱」アイコンをダブルクリックして、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックします。

●「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで行います。

ごみ箱のプロパティ
オプション | Windows 98 (C:)
ドライブごとに構成する(C)
全ドライブで同じ設定を使う(U)
ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す(R)
10%
ごみ箱の最大サイズ (各ドライブの割合)(M)
削除の確認メッセージを表示(D)
OK | キャンセル | 適用(A)

チェック!! ゴミ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはゴミ箱に保管されずに消えてしまいます。

●TEMPフォルダの中身を削除する

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、Windowsフォルダの中のTEMPフォルダに作られます。

メモ

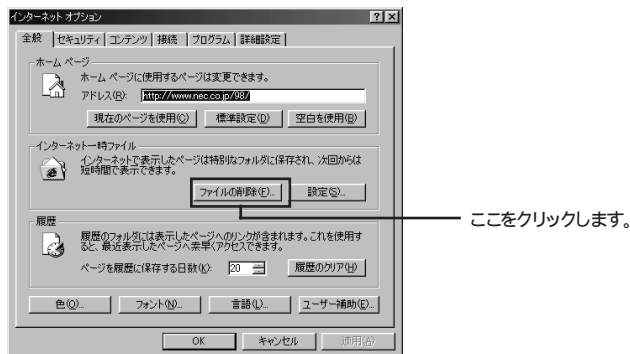
アプリケーションを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。

●インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する

インターネットエクスプローラで、既に表示したページを後で参照する必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き領域を増やすことができます。

1 **「インターネットエクスプローラ」を起動します。**

2 **「ツール」メニューから「インターネットオプション」をクリックします。**

3 「全般」タブの「ファイルの削除」ボタンをクリックします。

ここをクリックします。

4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

●「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き領域を増やすことができます。

参照 ドライブスペース→『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』

●インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照 ・添付アプリケーションの削除→PART2の「削除のしかた」

・別売のアプリケーションの削除→アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするため、このような現象が起こります。スキャンディスクを実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか削除してください。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される

Windowsがインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われれます。今後もこの警告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。
このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい

FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成してください

2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域にするには、FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成する必要があります。

参照 **FAT32ファイルシステム→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」**

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない

FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください

FAT32ファイルシステムを適用すると、一つの領域に2Gバイト以上の領域確保ができます。

参照 **FAT32ファイルシステム→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」**

「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に変換できない

MS-DOSモード時に組み込まれる不要なドライバや常駐プログラムを削除および無効にします。
Windowsが起動するドライブ内の「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」を「メモ帳」などで開き、無効にするドライバの行の先頭に、半角文字で次のように入力して保存します。

REM　<無効にするドライバ名>

FAT32を利用したい

「ドライブコンバータ(FAT32)」やカスタム再セットアップでFAT32を適用することができます。

参照 **FAT32ファイルシステム→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」**

CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM

トレイを出し入れできない

パソコンの電源は、入っていますか?

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。
電源が入っているのにディスクトレイが出てこないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」をご覧になり、ディスクを強制的に出してください。

メモ

モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)でクラムシェルタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合は、パソコンの電源が入っていなくてもディスクの出し入れが可能です。

ディスクをセットしても自動起動しない

ディスクは、自動起動に対応していますか?

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。ディスクのマニュアルで確認してください。
対応していないときは、Windowsのデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして起動してください。

自動起動が設定されていますか?

次の手順で確認します。

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「CD-ROM」の左の[+]をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。

3「設定」タブをクリックします。

4「オプション」の「挿入の自動通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、☑(オン)にします。

TEAC CD-220EA のプロパティ

全般 | 設定 | ドライバ

TEAC XX-XXXXX

ターゲット ID: 0 ファームウェア改訂番号: XXX

論理ユニット数: 0

オプション

☑ 切断(D) □ リムーバブル(R)

□ 同期データ転送(Y) □ Int 13 ユニット(I)

☑ 挿入の自動通知(U) ☑ DMA(M)

現在のドライブ文字割り当て: Q:

予約ドライブ文字

開始ドライブ文字(S): Q:

終了ドライブ文字(E): Q:

OK キャンセル

ここが☑(オン)になっていないと自動起動ができません。

画面はモデルによって多少異なります

メモ

自動起動の設定を解除する場合は、「挿入の自動通知」のチェックボックスを□(オフ)にします。

5「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されます。

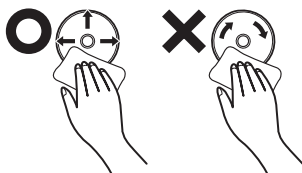
6「はい」ボタンをクリックして本機を再起動します。

データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

ディスクは正しくセットされていますか?

ディスクの表裏を確認して、ディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。

ディスクが汚れていませんか?

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。

ディスクに傷が付いていませんか?

傷がついているディスクは使えないことがあります。

メモ

添付されているディスクに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

ディスクがセットされているドライブに何らかの振動を与えませんでしたか?

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

このパソコンで使えるディスクかどうか確認してください

このパソコンで使えるディスクを使ってください。
アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 98を使うときは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしませんでしたか?

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。
音楽CDの再生中はフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか?

他のアプリケーションを終了させてください。
動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追い着かなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか?

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。

メモ

アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、再生がよりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフにしてください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音楽を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフに設定してください。

CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号は、ご購入時には次のように設定されています。

- **モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)(USBインターフェイス用のCD-ROMドライブ使用時)**
  Eドライブ
- **上記以外のモデルの場合**
  Qドライブ

次のようなときにはドライブ番号が変更されます。

- **別売のCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを増設したとき**
- **CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブの設定を変更したときなど**

ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

1. **「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。**

   「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2. **「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の左の+をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。**

3 「設定」タブをクリックします。

4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」の▼をクリックして表示された一覧の中から選びます。

画面はモデルによって多少異なります

終了ドライブ文字も自動的に変更されます。

メモ

モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)(USBインターフェイス用のCD-ROMドライブ使用時)の場合、ドライブ文字を特に指定しなければ、CD-ROMドライブのドライブ番号は、最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます。

例: 最後のハードディスクがDドライブのとき、Eドライブが割り当てられる

上記以外のモデルでは、ドライブ文字を指定しないとCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号はQドライブになります。

5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

6 Windowsの再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使いたい

出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使うことはできません。
MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使うためには、設定が必要です。PART5の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」(→p.196)をご覧ください。

CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら

CD-ROMを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したディスクをセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった(CD-R/RWモデル・CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)

書き込み中にスクリーンセーバーが起動したり、本機がスタンバイ状態(サスペンド)になったりしませんでしたか?

Easy CD Creatorなどのトラックアットワンス方式やディスクアットワンス方式のCD-R書き込みソフトを使って、CD-R/CD-RWにデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していると書き込みエラーになることがあります。
CD-R/CD-RWに書き込みを行う場合には、以下の操作をおすすめします。

- スクリーンセーバーを起動させないようにする
- スタンバイ状態(サスペンド)に移行させないようにする
- 他のアプリケーションを終了する
- 常駐プログラムをオフにする

ACアダプタを接続していますか?

CD-R/CD-RWにデータを書き込んでいるときにバッテリの残量がなくなると、データの書き込みに失敗します。CD-R/CD-RWにデータを書き込むときには、かならずパソコンにACアダプタを接続してお使いください。

周辺機器

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

正しく接続されていますか?

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

割り込みレベルなどの設定は正しいですか?

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。
周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。
周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブで確認します。

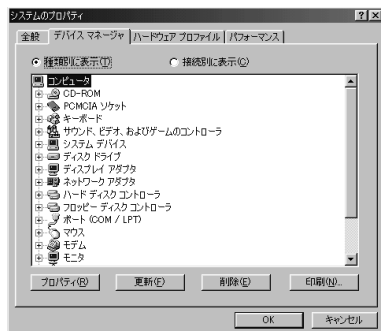
メモ デバイスマネージャの表示方法

1 「コントロールパネル」を開いて「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

画面はモデルによって多少異なります

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。

画面はモデルによって多少異なります

参照 **割り込みレベル、DMAチャネル→『活用ガイド　ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」**

取り付けた周辺機器のところに赤い「×」や黄色い「!」が付いているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

周辺機器の設定は正しいですか?

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 **周辺機器のマニュアル**

トラブルをおこしたドライバを削除し、正しいドライバをインストールするときには、Safeモードでwindowsを起動して、次の操作にしたがって設定してください。

1.Safeモードでwindowsを起動する

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】を押し続けます。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

メモ

【Ctrl】を押し続けても「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されない場合は、再起動してNECのロゴが表示されたあと、すぐに【F8】を何回か押してください。

3 【↓】【↑】を使って「3.Safe mode」を選び、【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

4 【半角／全角】を押します。

「WindowsはSafeモードで実行されています。」と表示されます。

5 「OK」ボタンをクリックします。

これで、SafeモードでWindowsが起動しました。

メモ

Safeモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順を実行してください。

2.取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。

2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。

3 「全般」タブをクリックして「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の ☑（オン）をクリックして □（オフ）にします。

4 「OK」ボタンをクリックします。

Windowsを再起動すると、通常のモードで起動します。

3.周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 上記「取り付けた周辺機器のドライバを無効にする」の手順1〜2を行います。

2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。

メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。下記の「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」をご覧ください。

プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「!」が表示され、周辺機器が動作しない

ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか?

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい

「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」でWindows Updateを利用するとMicrosoftのサーバに接続し、最新のデバイスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

1. **デバイスマネージャの画面を表示します。(→p.167)**
2. **「デバイスマネージャ」タブをクリックします。**
3. **一覧の中から、該当するハードウェアの左の⊞をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。**
4. **「ドライバ」タブをクリックします。**
5. **「ドライバの更新」ボタンをクリックします。**

   「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

6. **「次へ」ボタンをクリックします。**
7. **「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。**
8. **「Microsoft Windows Update」の☐(オフ)をクリックして☑(オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。**

   Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

9 **「更新されたドライバ（推奨）」の □（オフ）をクリックして ☑（オン）にして、「次へ」ボタンをクリックします。**

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい

Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システム　ツール」→「システム情報」をクリックします。**

「Microsoftシステム情報」ウィンドウが表示されます。

2 **メニューバーの「ツール」をクリックして「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。**

「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

1 **「OK」をクリックします。**

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2 **「C:￥WINDOWS￥OPTIONS￥CABS」と入力して「OK」をクリックします。**

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

98配列キーボードを使いたい

下記の手順で設定してください

このパソコンでは、別売の98配列USBキーボード（バスパワードハブ付き）（PK-KB011）を使うことができます。このキーボードを使用する場合は、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

3 「キーボード」の左の[+]をクリックし、「106 日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」か「NEC Note Keyboard with One-touch start buttons」をクリックしてから「プロパティ」ボタンをクリックします。

4 「ドライバ」タブをクリックします。

5 「ドライバの更新」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

7 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面で「すべてのハードウェアを表示」をクリックします。

8 「製造元」から「NEC Keyboard drivers」を選択し、さらに、「モデル」から次のどちらかのドライバを選択します。

- **NEC 98 Layout Keyboard(CTRL+XFER)**

  Windows上での日本語入力のOn/Off切り替えを【CTRL】+【XFER】で行うことができます。

- **NEC 98 Layout Keyboard (XFER)**

  Windows上での日本語入力のOn/Off切り替えを【XFER】で行うことができます。

9 「次へ」ボタンをクリックします。

10 「ドライバ更新の警告」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

11 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。

12 「KBD98AR.CATが見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合は、製造元ファイルのコピー元に「C:¥OPTIONS¥KEYBOARD¥NEC¥USB98」を指定し、「OK」ボタンをクリックします。

チェック!! **「jkeyb.sysが見つかりませんでした。」と表示された場合は、製造元ファイルのコピー元に「C:¥WINDOWS」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。**

13 **「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。**

14 **再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。**

本機が再起動します。

チェック!! **メッセージが表示されない場合は、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選択して本機を再起動してください。**

15 **98配列USBキーボードを接続します。**

チェック!! **「USBKB.catが見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合は、製造元ファイルのコピー元に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。**

これで設定は終了です。

チェック!! **別売の98配列USBキーボード(バスパワードハブ付き)(PK-KB011)を使っているときは、本機のキーボードは使えません。**

アプリケーション

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない

リソースが不足していませんか?

パソコンのシステムリソースが不足すると動作が不安定になり、フリーズすることがあります。「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」→「システムのプロパティ」→「パフォーマンス」タブの「システムリソース」でシステムリソースの空き容量を確認してください。リソース不足の場合は、以下の操作を行い、システムリソースの空きを確保してください。

◆ 起動中のアプリケーションを終了する

複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースの空き容量が少なくなります。起動中のアプリケーションを終了してください。
また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合は、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。また、「リソースが足りません」というようなメッセージが表示されて、終了したいアプリケーションが選択できないときは、次の手順でアプリケーションを終了してください。

1. **【Alt】を押しながら【Tab】を押します。**
   ウィンドウが表示されます。
2. **【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。**
3. **タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。**
   メニューが表示されます。
4. **「閉じる」をクリックします。**

これでアプリケーションを終了することができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

◆ 常駐プログラムを終了する

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にある使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了する項目(アプリケーションによって違いますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了してください。

◆ アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合があります。
この場合は、Windowsを再起動してください。

◆ 常駐アプリケーションを非常駐にする

以上の操作をしても問題が解決しない場合、次の手順で常駐アプリケーションを非常駐にしてください。

1. **「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システム ツール」→「システム情報」をクリックします。**
2. **「ツール」メニューの「システム設定ユーティリティ」をクリックします。**
3. **「スタートアップ」タブをクリックし、使用不可にしたいアプリケーションのチェックをはずします。**
4. **「OK」ボタンをクリックします。**
5. **「はい」ボタンをクリックします。**

   本機が自動的に再起動します。
   これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

☹➡☺ アプリケーションは省電力機能に対応していますか?

対応していないアプリケーションを使用中にスタンバイ状態(サスペンド)にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを操作し続けて、強制的に電源を切ってください。

☹➡☺ アプリケーションの削除をしませんでしたか?

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。
それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

アプリケーションが起動しない

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか?

◆ 複数のアプリケーションを同時に起動している場合

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときはそれらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できなくなることがあります。

参照 **アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べるときには→アプリケーションのマニュアル**

◆ ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合

ファイルサイズの大きい壁紙を使用していると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。お使いの壁紙のファイルサイズを確認し、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

アプリケーションは省電力機能に対応していますか?

対応していないアプリケーションを使用中にスタンバイ状態（サスペンド）にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スタンバイ状態（サスペンド）にしないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを操作し続けて、強制的に電源を切ってください。

アプリケーションの削除をしませんでしたか?

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。
それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。

参照 **画面の表示色を変更するには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」**

アプリケーションをインストールできない

アプリケーションはこのパソコンに対応していますか?

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか?

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールし直してください。

アクティブデスクトップをWebページで表示していませんか?

アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、アプリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアクティブデスクトップの設定を変更してください。

1. **デスクトップ上の何もないところで、右クリックします。**
2. **表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」→「Webページで表示」をクリックします。**

   「Webページで表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。

「インストール先のハードディスクが空き領域不足のためインストールできません」というようなメッセージが表示されませんでしたか?

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスクの空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

参照 **ハードディスクの空き領域を増やすには→「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.156)**

メモ

どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。

Windows 98に対応していないMS-DOS用、Windows 3.1用、またはWindows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか?

MS-DOS用、Windows 3.1用、Windows 95用のアプリケーションの中にはインストールできないものがあります。各アプリケーションの製造元にご確認ください。

MS-IME2000使用時にWindows 3.1用のアプリケーションを実行しようとしませんでしたか?

MS-IME2000を標準でご使用の状態でWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止することがあります。このような場合は次のように設定してください。

チェック!!

- **通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。**
- **次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、もう一度、次の方法を行う必要があります。**

メモ

次の操作を行うとWIN.INIファイルが変更されます。まず、Windowsのフォルダ(購入時の状態では、Cドライブ)にあるWIN.INIファイルのバックアップ(コピー)を取っておくことをおすすめします。

1 **まず、クイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順6へ進んでください。**

2 **「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。**

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 **「Windowsファイル」タブで「ファイルの種類」の「アクセサリ」をクリックして「詳細」ボタンをクリックします。**

4 **「クイックビューア」の左についているチェックボックスをクリックして☑(オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。**

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5 **「OK」ボタンをクリックします。**

クイックビューアのセットアップが行われ、Windowsのデスクトップの画面が表示されます。

6 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

7 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックし、メニューの「クイックビューア」をクリックします。

選択したアプリケーションの情報(テクニカル ファイル情報)を表示するウィンドウが開きます。

8 「モジュール名」の右側に表示されている文字をメモします。

ここでは仮に「ABC」とします。

9 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。

10 「名前」欄に「WIN.INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。

11 「検索」メニューから「検索」をクリックします。

「検索」ダイアログが開きます。

12 「検索する文字列」欄に「Compatibility」と入力し、「次を検索」ボタンをクリックします。

本文内の「Compatibility」が選ばれます。

13 「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリックします。

14 キーボードの【Fn】を押しながら【Home】を押します。

「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。

15 キーボードの【Enter】を押します。

新しい行が作成されます。

16 手順8でメモした文字(ここではABC)を入力します。

17 手順16で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。

手順15で作成された行に次の内容が表示されます。

ABC=0x00400000

18 「メモ帳」→「ファイル」メニュー→「上書き保存」をクリックします。

19 「メモ帳」→「ファイル」メニュー→「メモ帳の終了」をクリックします。

メモ帳が終了します。

20 「クイックビューア」の「ファイル」メニューから「クイックビューアの終了」をクリックします。

クイックビューアが終了します。
これでWindows 3.1対応アプリケーションが使用できます。

メモ

Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックしたとき表示されるメニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセットアップされていません。
クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい

Windows 95版のアプリケーションがWindows 98でもそのまま使えるかどうかはアプリケーションによって異なります。

◆ 本機にあらかじめインストールまたは添付されているアプリケーションの場合

アプリケーションの名称に「・・・for Windows 95」や「Windows 95版」などと記載されていたり、アプリケーションの画面やヘルプに「Windows 95」と記述されていても問題なく動作します。

◆ 市販されているアプリケーションの場合

Windows 98で問題なく使用できるかどうかについては、アプリケーションの購入元にご確認ください。

MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない

MS-DOS通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」画面をフルスクリーンにして使用してください。

ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない（ハイスペックノート以外の場合）

「ワンタッチスタートボタン」の設定を確認してください

インジケータ領域（タスクトレイ）の をダブルクリックし、表示された「ワンタッチスタートボタンの設定」の画面で設定を確認してください。

参照 **ワンタッチスタートボタンを設定する→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」**

その他

日付と時刻を確認する

内蔵のカレンダ用電池は十分に充電されていますか?

本機の内蔵時計はカレンダ用電池で動いています。内蔵のカレンダ用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機のACアダプタを約40時間以上接続したままにしてカレンダ用電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。

3 「OK」ボタンをクリックします。

これで正しい日付と時刻が設定されました。

Windows Updateができない

インターネットに正しく接続されていますか?

「接続できない」(→p.131)をご覧になり、もう一度接続を確認してください。

インターネットプロバイダとの契約はお済みですか?

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

メモ

インターネットへの接続は「Windows 98へようこそ」の「インターネットに接続」をクリックすると、簡単に設定することができます。

Windows 98ユーザー登録はお済みですか?

Windows Updateを利用するには、Windows 98ユーザー登録をしておく必要があります。
ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

メモ

Windows 98ユーザー登録は「Windows 98へようこそ」の「今すぐ登録」をクリックしても起動することができます。

2000年問題について知りたい

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

用語 **2000年問題**

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーにした期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

Windows 98起動ディスクを作成したい

Windows 98起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動できなかったときに、フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブから起動するために使うものです。
Windows 98起動ディスクは、次の手順で作成します。

1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい

1 本機の電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブにWindows 98起動ディスク1をセットします。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

3 「Start computer with CD-ROM support」が選択されていることを確認して、【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

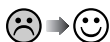
4 【半角／全角】キーを押します。

「Windows 98 起動ディスク2を挿入してください」と表示されます。

5 フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブから「Windows 98 起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク2」をセットします。

6 いずれかのキー(【Enter】など)を押します。

しばらくすると、「A:¥>_ 」と表示されます。
これで、Windows起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。
もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブからWindows 98起動ディスクを取り出して、本機の電源を入れ直してください。

動作状況が不安定になった

LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしませんでしたか?

LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしないでください。
Windowsの電源管理で自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、最寄りのNECフィールディングの各支店、営業所などにご連絡ください。
ウイルスの駆除や届出について詳しくはp.76〜79をご覧ください。

「追加情報 READMEファイル」を参照したい

「スタート」ボタン→「プログラム」→「追加情報」をご覧ください。

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない

ネットワークの設定はされていますか?

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用するには、ネットワークの設定が必要です。
ご使用になるネットワーク環境にあわせて、「コントロールパネル」を開いて「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「クライアント」、「アダプタ」、「プロトコル」の設定を行ってください。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「電源の管理」→「アラーム」の機能の使いかたを知りたい

アラーム使用時には、以下の点に注意してください。

・「音で知らせる」チェックボックスのチェックの有無に関わらず、音が鳴ります。
・「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンド」で設定を変更しても、設定したサウンドファイルが鳴らず、決まったサウンドファイルの音が鳴ります。

Windows 2000を利用したい

PART5の「Windows 2000 Professionalを使う」(→p.191)をご覧になり、Windows 2000をインストールしてご利用ください。なお、本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアはWindows 2000では利用できません。

Windows Meを利用したい

PART5の「Windows Meを使う」(→p.188)をご覧になり、Windows Meをインストールしてご利用ください。なお、本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアはWindows Meでは利用できません。

PART

5

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

他の0Sを利用する

Windows Meを使う

チェック!! 本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows Meでは利用できません。

本機で別売のWindows Meを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして「¥Win98¥SETUPME.TXT」をご覧ください。

また、Windows Meをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。
各ドライバのセットアップ方法について詳しくは、各ドライバの格納フォルダにある「SETUPME.TXT」をご覧ください。

- セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。
- ドライバのセットアップを行うとき、コントロールパネルに目的のアイコンが存在しない場合があります。その場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。
- Windows Meをアップグレードインストールする場合は、Windows Meをセットアップする前に本機に添付されている『活用ガイド ハードウェア編』をご覧になり、休止状態(ハイバネーション)の設定を解除してください。Windows Meへアップグレードした後は、Windows Meのハイバネーション機能を使用できるようになります。

チェック!! ワイヤレス通信機能ドライバ、ワンタッチスタートボタンの設定、内蔵サウンド対応ドライバ、自動メール受信ユーティリティのセットアップは、Windows Meを新規にインストールする場合にのみ必要です。アップグレードインストールする場合には必要ありません。

◎ コンパクトオールインワンノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win98¥100BASE2

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ（LAN非搭載（モデムのみ）のモデル）	¥Win98¥MD19QME
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ（モデム／LAN同時搭載のモデル）	¥Win98¥MDXIRME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥Win98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win98¥RAGE_ME
モニタの設定	¥Win98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥Win98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥Win98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※	¥Win98¥3MODEFD2
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win98¥YMF743
自動メール受信ユーティリティ	¥Win98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥Win98¥IRSMCME
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥Win98¥MMC3ME

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

◎ ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥Win98¥MDCRBAME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥Win98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win98¥SAVIXME
モニタの設定	¥Win98
NXパッド	¥Win98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※	¥Win98¥3MODEFD1
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win98¥ES1978S
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥Win98¥MMC3ME

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥Win98¥MD19RME
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥Win98¥MDXIRME
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win98¥RAGER_ME
モニタの設定	¥Win98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥Win98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥Win98¥NXPAD-ME
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win98¥ES1988W
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥Win98¥MMC3ME
BaySwapユーティリティ	¥Win98¥OPTIONS¥OTHER¥BAYSWAP

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥Win98¥MDMDCME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥Win98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win98¥SM721ME
モニタの設定	¥Win98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥Win98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥Win98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※	¥Win98¥3MODEFD2
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win98¥ES1988W
自動メール受信ユーティリティ	¥Win98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥Win98¥IRSMCME
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥Win98¥MMC3ME

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

Windows 2000 Professionalを使う

チェック!! 本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows 2000では利用できません。

本機で別売のWindows 2000 Professionalを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- **OSのセットアップ手順**

  ¥Win2K¥Setup.txt

- **セットアップ時の注意事項**

  ¥Win2K¥Readme.txt

また、Windows 2000 Professionalをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。
各ドライバのセットアップ方法について詳しくは、下記の各フォルダにある「SETUP.TXT」をご覧ください。

> セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

◎ コンパクトオールインワンノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NXパッド	¥Win2K¥SLIDEPAD
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win2K¥MOBILITY
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win2K¥YMF743
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win2K¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ（モデム／LAN同時搭載のモデル）	¥Win2K¥XCMODEM
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ（LAN非搭載（モデムのみ）のモデル）	¥Win2K¥LTMODEM2
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥Win2K¥PHS
赤外線通信機能ドライバ	¥Win2K¥IRSMC2K
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥Win2K¥MMC3
ワンタッチスタートボタンの設定	¥Win2K¥MFNB

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
自動メール受信ユーティリティ	¥Win2K¥AMR
3モード対応フロッピーディスクドライバ(Type J)※	¥Win2K¥3MODE

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きやフォーマットをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

◎ ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NXパッド	¥Win2K¥SLIDEPAD
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win2K¥SAVAGEIX
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win2K¥MAESTRO2
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win2K¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥Win2K¥LTMODEM
赤外線通信機能ドライバ	¥Win2K¥IRNSC2K
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥Win2K¥MMC3
3モード対応フロッピーディスクドライバ(Type G)※	¥Win2K¥3MODE

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きやフォーマットをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NXパッド	¥Win2K¥NXPAD
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win2K¥MOBILITY
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win2K¥ES1988
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win2K¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥Win2K¥XCMODEM
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥Win2K¥LTMODEM1
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥Win2K¥MMC3
ワンタッチスタートボタンの設定	¥Win2K¥MFNB
画面回転支援ユーティリティ※	¥Win2K¥CHGSCREEN

※ 液晶ディスプレイの画面回転機能を利用する場合に、画面回転支援ユーティリティを使用してください。

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NXパッド	¥Win2K¥SLIDEPAD
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥Win2K¥SM721
内蔵サウンド対応ドライバ	¥Win2K¥ES1988
内蔵LANボード対応ドライバ	¥Win2K¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥Win2K¥RWMODEM
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥Win2K¥PHS
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥Win2K¥MMC3
赤外線通信機能ドライバ	¥Win2K¥IRSMC2K
ワンタッチスタートボタンの設定	¥Win2K¥MFNB
自動メール受信ユーティリティ	¥Win2K¥AMR
3モード対応フロッピーディスクドライバ(Type J)※	¥Win2K¥3MODE

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きやフォーマットをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

Windows NT 4.0を使う

チェック!!

- **本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows NT 4.0では利用できません。**
- **モバイルノート(ベイ内蔵型)では、Windows NT 4.0をインストールしてご使用になることはできません。**

本機で別売のWindows NT 4.0を使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- **OSのセットアップ手順**

  ¥NT40¥Setup.txt

- **セットアップ時の注意事項**

  ¥NT40¥Readme.txt

なお、Windows NT 4.0のセットアップ後に、ドライバのコピーを行う必要があります。それぞれ、下記のドライバコピー用のバッチファイルを実行してください。

5 付録

コンパクトオールインワンノート、モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）の場合
DRVCOPY2.BAT

ハイスペックノートの場合
DRVCOPY1.BAT

また、Windows NT 4.0をセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。
各ドライバのセットアップ方法について詳しくは、下記の各フォルダにある「SETUP.TXT」をご覧ください。

> セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

◎ コンパクトオールインワンノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥NT40¥100BASE
ワンタッチスタートボタンの設定	¥NT40¥MFKNT4
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥NT40¥MOBILITY
内蔵サウンド対応ドライバ	¥NT40¥YMF743
MIDIドライバ	¥NT40¥Y743MIDI
NXパッド	¥NT40¥SLIDEPAD
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ（モデム／LAN同時搭載のモデル）	¥NT40¥XCMODEM
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ（LAN非搭載（モデムのみ）のモデル）	¥NT40¥LTMODEM2
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥NT40¥PHS

◎ ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥NT40¥100BASE
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥NT40¥SAVAGEIX
内蔵サウンド対応ドライバ	¥NT40¥MAESTRO2
NXパッド	¥NT40¥SLIDEPAD

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥NT40¥LTMODEM
スーパーディスク3モード対応ドライバ （スーパーディスクモデル）	¥NT40¥LS120DRV
スーパーディスク専用フォーマットユーティリティ （スーパーディスクモデル）	¥NT40¥MKELS120

◎ モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥NT40¥100BASE
ワンタッチスタートボタンの設定	¥NT40¥MFKNT4
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥NT40¥SM721
内蔵サウンド対応ドライバ	¥NT40¥ES1988
NXパッド	¥NT40¥SLIDEPAD
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥NT40¥RWMODEM
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥NT40¥PHS

5
付録

Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、本機をMS-DOSモードで起動することができます。

チェック!! **プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特に、PC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは、MS-DOSモードやMS-DOSプロンプトでは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。**

◎ 本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

1 **「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする**

2 **「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする**

本機がMS-DOSモードで再起動します。

◎ MS-DOSモードを終了する

1 **コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する**

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

◎MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSアプリケーションやMS-DOSコマンドを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

チェック!! **「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。**

◆ MS-DOSプロンプトを起動する

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

チェック!! **MS-DOSモードでは、PCカードは使用できません。**

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを利用する

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。ここでは、CD-ROMドライブを例に説明しています。CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルを使用している場合は、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。

チェック!!

- **CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブは、MS-DOSモードでは、CD-ROMドライブとしてのみ使うことができます。**
- **モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、HUB(ハブ)を経由しないUSBコネクタ(パソコン右側面の背面寄りのコネクタ)に接続してください。**
- **モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、USBコネクタからCD-ROM接続ケーブルを抜き差ししないでください。**

・モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、MS-DOSモードにする前に『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows98の場合)」をご覧になり、使用中スリープ状態にならないように設定しておいてください。

・モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、CD-ROMドライブ以外のUSB機器を使用することはできません。

・モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合、CD-ROMモデル以外では、以下の操作を行ってもCD-ROMドライブを使用することはできません。お使いのCD-ROMドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

◎ 現在のMS-DOSモードで内蔵または添付のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

◆ モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合

チェック!!

・Windowsの終了画面から「MS-DOSモードで再起動」を選択した場合には、専用の外付けCD-ROMドライブは使用できないのでご注意ください。

・USBインターフェイスのフロッピーディスクドライブが搭載されているモデルの場合、以下の操作を行ったときにフロッピーディスクドライブが使用できなくなるため、フロッピーディスクドライブを取り外してください。

1 **本機右側面のUSBコネクタ(ポート3)にCD-ROMドライブを接続する**

2 **本機の電源を入れる**

3 **「NEC」のロゴ画面が表示されたらキーボードの【F8】を押し続ける**

4 **「Microsoft Windows 98 Startup Menu」の画面が表示されたら【5】を選択して【Enter】を押す**

コマンドプロンプトの画面が表示されます。

```
C:¥>_
```

5 お使いになるCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

6 次のように入力する

USBCD ↵

ファイル実行後、CD-ROMドライブはQドライブに割り当てられます。
これで、MS-DOSモードでCD-ROMドライブが使えるようになります。

◆その他のモデルの場合

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

本機がMS-DOSモードで再起動します。

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブが使用可能になります。

◎ 新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する

「エクスプローラ」が表示されます。

2 C:¥COMMAND.COMをクリックする

プログラム名が反転表示されます。

COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。

3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする

「Commandプロパティ」が表示されます。

4 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする

「プログラムの詳細設定」が表示されます。

5 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける

CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

本機専用のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATのそれぞれのファイルに以下の記述を追加してください。

・MS-DOSモード用CONFIG.SYSファイル
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥USB_CD.SYS /D:MSCD001

・MS-DOSモード用AUTOEXEC.BATファイル
C:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001 /L:Q

6 「OK」ボタンをクリックする

「プログラムの詳細設定」が閉じます。

7 「OK」ボタンをクリックする

「プロパティ」が閉じます。

8 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする

MS-DOSモードが起動します。

本機専用のUSBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合、MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。これで設定は完了です。以降の手順は必要ありません。上記以外の場合は、引き続き下記のように操作してください。

9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

11 エクスプローラを起動していない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する

「エクスプローラ」が表示されます。

12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする

MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

チェック!! **新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。**
「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて終了します。続行しますか?」

アフターケアについて

■保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。

チェック!!

- **ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。**
- **故障箇所によっては、本機ご購入後にハードディスクドライブやメモリ内に保存されたデータを完全には復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

■添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。

- **フロッピーディスク**
- **CD-ROM**

パソコンの型名などは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

■消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。
また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールディングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

■本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「お客様登録」を行ってください。

◎譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

①本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

②各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

③譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)

チェック!!
・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。

・ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、121ware登録センター(TEL:0120-469-121)まで、ご連絡のうえ必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

◎譲渡を受けられるお客様へ

「お客様登録」に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。
ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

チェック!! **「お客様登録申込書」が未使用で残っていても、「お客様登録申込書」は使わないでください。**

記載内容

① 本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial　No.」(いずれのソフトも同一)※
※「Serial　No.」がない場合は不要です。

② 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

③ あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒185-8501　東京都府中市日新町一丁目10番地(NEC府中事業場)
NEC 121ware登録センター係行

■本機の廃棄方法について

◎ハイスペックノート、モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合

・本機の所有者が事業者の場合

本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。
また、当社では、本機の回収・リサイクルシステムを準備しております。廃棄と回収・リサイクルシステムについては「マニュアルCD-ROM」の『環境ガイド』をご覧ください。

・本機の所有者が個人の場合

本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。

◎その他のモデルの場合

地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたとき

電源を入れたとき

電源を切るとき

省電力機能

バッテリ

表示

NXパッド

文字入力

ファイル保存

インターネット／パソコン通信

ネットワーク(LAN)

赤外線通信(赤外線通信ポートのあるモデルの場合)

光デジタル出力機能（ハイスペックノート、モバイルノートの場合）

印刷

フロッピーディスク／スーパーディスク

ハードディスク

CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM

索引

周辺機器

アプリケーション

その他

索引

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。
このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、より的確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1　あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型名	
製造番号（パソコンの底部に記載されています）	
メモリの容量	MB（メガバイト）
メモリの容量を調べるには→マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○ MB の RAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB（ギガバイト）
ハードディスクの空き領域	GB（ギガバイト）
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	
周辺機器	**品名・型名（メーカー名）**
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OS のバージョンと発売メーカー
□ Windows Me （バージョン　　　） □ Windows 98 （バージョン　　　）
□ Windows 2000（バージョン　　　） □ Windows NT 4.0（バージョン　　　）
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート２　具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか?　トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか?
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか?

□パソコンを起動するたびに起きる

□そのアプリケーションを起動するたびに起きる

□特定の操作を行うと起きる

□はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。

PC98-NX

活用ガイド
ソフトウェア編

PC98-NX SERIES

VersaPro

(Windows 98 インストール)

初版　2001年2月
NEC
P
853-810060-022-A